

三重県の文化財保護

令和4年度



県指定有形文化財 黒瀧神社本殿

2024.2

三重県教育委員会

例 言

- 1 本書は、三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課が令和4年度に実施した文化財保護事業をまとめたものである。
- 2 国史跡齋宮跡の発掘調査の詳細については、齋宮歴史博物館が年報として報告しているので、別途参照されたい。
- 3 市町文化財指定・解除及び文化財保護強調週間行事などは、市町教育委員会からの報告をもとに記載した。
- 4 本書記載の市町名・組織名は、各申請書等の記載名称を基本としている。

目 次

I	文化財の指定・登録	
1	県指定文化財の指定	1
2	国指定等文化財の指定等	9
3	市町指定文化財の指定等	13
4	三重県文化財保護審議会	14
II	県実施の調査・保護事業	
1	特天 カモシカ 天然記念物食害対策事業	15
2	世界遺産熊野参詣道・無形文化遺産保存管理推進事業	16
3	史 県内遺跡 発掘調査等事業	17
4	県内埋蔵文化財 地域の特色ある埋蔵文化財活用事業	18
5	重文 三重県齋宮跡出土品 美術工芸品保存修理事業	18
6	重文 旧永島家襖絵<曾我蕭白筆>防災施設整備事業	18
III	文化財補助事業等	
1	国庫補助事業	19
2	県費補助事業	27
3	民間団体による助成	29
IV	文化財の管理・普及	
1	登録審査	30
2	文化財の管理	30
3	国・県指定文化財に関する諸届等	39
4	文化財の公開・普及	42
V	修理事業報告	
	県指定有形文化財 木造阿弥陀如来坐像の修理	44
VI	資料紹介	
	県指定有形文化財 木造阿弥陀如来坐像の像内銘	45

【表紙 黒龍神社本殿】

【裏表紙 三重県内国・県指定等文化財様式】

I 文化財の指定・登録

1 県指定文化財の指定

(1) 有形文化財

建第 54 号 黒瀧神社本殿 附 棟札等

1 棟 附 22 枚

【告 示】三重県教育委員会告示第 2 号

(R5.2.7 発行三重県教育公報第 1800 号)

【指定日】令和 5 年 1 月 27 日

【所在地】松阪市飯高町森 129

【所有者】宗教学法人黒瀧神社

【年 代】慶安元（1648）年（棟札による）



《概要》

黒瀧神社は、櫛田川上流左岸の松阪市飯高町森に所在する。主祭神は菅原道真で、正元元

（1259）年に北野天満宮から勧請したと伝えられる。天文 21（1552）年以降の棟札類があり（昭和 61（1986）年の飯高町による棟札調査には大永 5（1525）年の棟札が記載されているが現存しない）、社名は、黒瀧天神（天文 21 年）、黒瀧天満大自在天神（慶安元年・他）、黒瀧天満大自在天神宮（元禄 2（1689）年・他）と記載されている。明治期には村社に列せられ、明治 41（1908）年に周辺及び境内の各社を合祀し今日に至っている。

《建造物の形式や特徴》

本殿は三間社流造で、屋根は檜皮葺であったが、昭和中期に銅板葺に変更された。全体に彫刻や極彩色の彩色が施されている。

本殿の周囲には玉砂利が敷かれ、自然石を並べた雨落が設けられている。基礎は、自然石を並べた上に木製土台を井桁に組んで身舎と庇の柱を立ち上げている。

柱は、身舎が円柱、庇は面取角柱である。身舎の壁は床下部分を含めて横羽目の板壁である。身舎正面の中央は両開きの板扉で、三方に黄色く彩色された幣軸が廻る。内部は、中央に両引の板戸を入れた横羽目の板壁で内陣と外陣に間仕切られている。外陣・内陣ともに格天井・床板敷で、内陣は奥に一段高く壇を設けている。

身舎の軒は二軒繁垂木、外廻りは切目長押、内法長押、頭貫を廻らせる。頭貫木鼻は拳鼻とし、柱頂部には出三斗実肘木付、端部は連三斗実肘木付を載せる。身舎正面中央間のみ中備に本臺股を用いる。妻部は虹梁上に大瓶束を乗せる。破風には持みと母屋端に猪目懸魚を吊る。

身舎の正面と両側面の三方に縁・高欄を廻らし、背面柱筋に脇障子を立てる。正面に三間の庇を設け、木階七級、下に浜縁を設ける。向拝柱の頂部には出三斗実肘木付を載せ、柱の間には水引虹梁を通し、虹梁端は象鼻とする。虹梁上には各間とも中備には裏側の斗が省略された本臺股を設け、身舎との軒のつなぎには、手挟を用いる。

彩色は柱・垂木・切目長押・背面板壁・正側面板壁床下部分・高欄・脇障子裏面を朱もしくはベンガラで赤く塗り、垂木木口は黄土塗、正側面の板壁は胡粉塗とする。正面と両側面

は、柱上部・組物・内法長押・頭貫・虹梁・臺股・手挟に極彩色を施す。土居及び木階は黒漆塗、木階木口は黄土塗とする。正面板扉に「松樹」、側面板壁は北西面に「連獅子」、北東面に「松と蘭陵王」、妻壁に「藤花」、脇障子表面に「隨身武者」の彩画が施されている。

彫刻は、身舎正面の臺股に「郭巨（註1）」、向拝の臺股に左から「竹に虎」、「波に雲龍」、「牡丹に唐獅子」、手挟に左から裏表に「迦陵頻伽^{かりょうびんが}」・「牡丹に孔雀」、「桃に梟」・「鶴に亀」、「枇杷に猿」、「鯉の滝登り」、「菖蒲に鴛鴦」・「献花天女」を画題とした浮彫が施され、彩色されている。

《部材の時期について》

本殿の虹梁、臺股、組物等の細部意匠はいずれも近世初期の特色を示している。現存する棟札のうち、慶安元（1648）年霜月吉日の棟札が現本殿の建立時に該当するものと考えられる。以上は享保7（1722）年の「黒瀧天神年代記」とも矛盾がない。

部材の加工痕跡や風化具合からみて、当初の部材と考えられるのは、身舎の柱・桁・梁・切目長押・内法長押・頭貫・虹梁・大瓶束・組物・手挟・壁板・正面板扉、及び庇の水引虹梁・組物、脇障子・桁などである。身舎の垂木は、地垂木にはヤリガンナと思われる痕跡があり、当初材と推定されるが、飛檐垂木^{ひえん}は風蝕が少なく、取り換え材と考えられる。庇の柱や木階も同じく取り換えられたものであろう。破風板^{はふいた}は向かって右の一部が取り換えられているが当初材も残る。

彫刻については、庇の臺股裏側の斗が省略されているが、ヤリガンナ痕跡も見られ、当初材と思われる軒桁と風食の具合は同じであるため、当初から省略されていた可能性が考えられる。

また、身舎内部の床、天井、間仕切壁、内陣壇、外部の縁、木階、高欄、浜縁、土台の一部は平成2（1990）年の修理時に取り替えられている。屋根は昭和35（1960）年の改修時には檜皮葺であったが、この時に現況の銅板葺に変更された（昭和35年棟札）。

彩色については、棟札に「絵畫」、「絵師」の記載があり、各時代の造営時に描かれたことがうかがえるが、現在の絵は、昭和54（1979）年に、建造物絵画彩色師の桜阪弘により描かれたものである。

《年代根拠資料》

享保7年（1722）の上葺再興の際に、本殿内の棟札をもとに作成した「黒瀧天神年代記」と記す木札に「今大宮慶安戌子建立二而今享保七壬寅迄七十六年也」とある。

慶安元年（1648）の棟札では「氏子共造宮成就」とし、本願人として、森岡傳衛門政次、荒堀善四郎政吉、森善八郎政家の3名、神主として左近太夫政重の名を記し、また、大工として伊賀国阿可郡湯野谷村（湯屋谷村）の藤原朝臣久左衛門吉次、権大工として古山東谷村の藤原朝臣市郎右衛門國次、仕手大工として古山東谷村の藤原朝臣庄右衛門清次、古山東谷村の藤原朝臣庄兵へ、神戸村の藤原朝臣権十郎、東谷村の藤原朝臣源左右工門、葺（大工）として古郡村の藤原朝臣弥左衛門家次の名を記す。

以上を総合すると、本殿の建立時期は、棟札に伝える慶安と考えて良い。

《三重県内での位置づけと評価》

県内では、江戸時代前期（元和元（1615）年～万治4（1661）年）以前の神社本殿建築

は少なく、地域も限られている。

江戸前期以前の神社本殿には、高倉神社本殿・境内社春日社本殿・境内社八幡社本殿（伊賀市西高倉）、猪田神社本殿（伊賀市猪田）、大村神社宝殿（伊賀市阿保）、八幡神社本殿（津市美杉町奥津）、金剛證寺雨宝堂（伊勢市朝熊町）、白山比咩神社本殿（津市白山町南出・山田野・川口）、花垣神社本殿（伊賀市予野）、波多岐神社本殿（伊賀市土橋）などがある。これらのうち、八幡神社本殿は三間社であるが、他は一間社である。（註2）

黒瀧神社本殿は、これらの神社本殿と比べて時期的に若干下り、地域的にもやや隔たるが、天文、慶安の棟札に伊賀の工匠の名が記されており、技術の系統は同一であると考えられる。

また、主要な細部意匠、加工は優秀で保存状態もよく、建立以来、各時期における関係者が維持管理に注意を払ってきたことが推察できる。建立時期も明確であり、この地域における数少ない江戸時代前期の神社本殿として貴重である。

以上のことから、当資料は学術的・地域的な価値が高く、県の有形文化財として指定するのに相応しいものである。

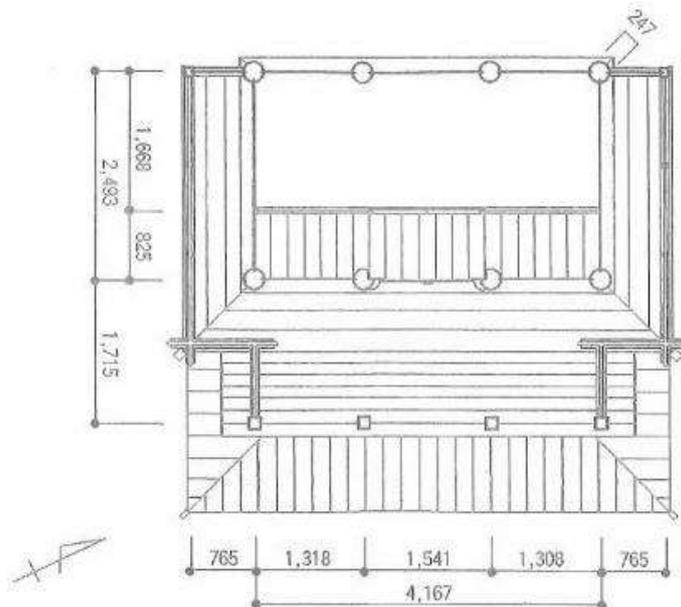
また、歴代の棟札については、建築年代や修理の過程を示しており、本殿の修理が最後に行われた平成2年修復時までの22枚を附とする。

註

- 1 男と幼児を抱いた女の前に黄色の釜と鍬と考えられるものがあり、中国『二十四孝』の「郭巨」の場面であると考えられる。
- 2 伊賀市及び津市美杉町の本殿は、虹梁に彫刻がなく、袖切が直線、そできり眉欠の線が細く彫りは浅く、まゆがき袖切下端と眉欠の始点が一致しているという意匠の特徴があり、時代を考える指標にもなっている。

参考文献

- ・三重県編『三重県史』別編 建築（2003年）
- ・三重県教育委員会編『三重の近世社寺建築』（1985年）
- ・飯高町教育委員会『飯南郡飯高町 神社棟札調査報告書』（1986年）



黒瀧神社本殿 平面図（三重県編『三重県史』別編 建築（2003年））

黒瀧神社本殿 附棟札一覽

通番	写真 番号	元号	月日	西暦	形態	仕上	材	木取	高 (c m)	楼高 (c m)	上幅 (c m)	下幅 (c m)	厚 (c m)	主文	大工等	備考
1	1	天文2 1	2.25	1552	尖頭	鈍	杉	板目	86.6	83.8	16.4	16.4	1.1	梵字(黄言)		2の折清木札か
2	2	天文2 1	2.25	1552	尖頭	鈍	杉	板目	91.8	88.8	17.8	18.0	1.3	奉折黒瀧天神社遺堂	【大工】藤原家次(伊賀) 【書大工】藤原与二郎(伊賀目戸)	黒瀧天神社の造営
3	3	慶安元	11月	1648	尖頭	鈍	桧	柱目	123.7	120.5	23.7	24.2	2.0	奉扶桑国勢州飯高部川原谷森黒瀧天満大自在天神	【大工】藤原吉次(伊賀湯屋谷) 【書大工】藤原家次(伊賀占山東谷)	黒瀧天神社の造営
4	4	元禄2	6月	1689	尖頭	鈍?	桧	板目	138.2	135.2	32.8	29.0	1.2	奉黒瀧天満大自在天神宮上葺再興并一鳥居建立処	【大工】藤原吉次(伊賀) 【絵書】階信(伊勢)	黒瀧天神社の葺替と鳥居造立
5	5	享保7	8.3	1722	尖頭	鈍	桧	柱目	90.4	87.2	29.2	29.5	1.1	黒瀧天神年代記		黒瀧天神の勧請元を京都吉田社とする等
6	6	享保7	8月	1722	尖頭	台?	桧	板目	93.8	90.4	33.2	33.2	1.1	奉黒瀧天満大自在天神宮上葺再興	【大工】藤原宗繼 【葺屋】久七郎(大和宇陀) 【絵書】長谷川門弟(大和)	黒瀧天神社の葺替
7	7	寛延4	8月	1751	尖頭	台鉤	杉	板目	98.7	97.0	33.0	33.4	0.8	奉黒瀧天満大自在天神宮上葺再興	【大工】藤原権四郎(飯高) 【葺師】森住政(尾張熱田) 【画師】角島橋延英(勢南)	黒瀧天神社の葺替
8	8	安永5		1776	尖頭	台鉤	桧	板目	116.8	113.6	22.2	22.2	0.7	奉黒瀧天満大自在天神宮上葺再興処	【大工】藤原家吉(森郷大又) 【葺師】丹度清春(尾張名古屋) 【絵師】林春道(勢南横川村)	黒瀧天神社の葺替
9	9	寛政8		1796	尖頭	台鉤	桧	柱目	92.3	89.1	27.0	27.0	0.6	奉黒瀧天満大自在天神宮上葺再興	【大工】藤原家吉(森郷大又) 【葺師】森弥右衛門(尾張名古屋) 【絵師】大坂屋吉兵衛(大和宇陀)	黒瀧天神社の葺替
10	10	文化1 3	11月	1816	尖頭	台鉤	桧	板目	108.5	107.0	23.4	23.6	0.9	奉黒瀧天満大自在天神宮上葺再興	【大工】文助(飯高之栗子村) 【葺師】清兵衛(伊賀神戸我山) 【絵師】更紗屋太右衛門(大和宇陀)	黒瀧天神社の葺替
11	11	天保9	3月	1838	尖頭	台鉤	桧	板目	89.8	88.4	23.6	23.7	1.6	奉黒瀧天満大自在天神宮上葺再興	【大工】家野忠藏 【葺師】藤七郎(伊賀神戸我山) 【絵師】久保雪(伊賀神戸我山)	黒瀧天神社の葺替
12	12	安政3	4月	1856	尖頭	台鉤	桧	板目	85.4	82.0	24.2	24.0	2.1	奉黒瀧天満大自在天神宮上葺再興	【大工】藤一郎(勢野) 【葺師】弥右衛門(伊賀神戸我山) 【絵師】佐平次(伊賀神戸我山?)	黒瀧天神社の葺替
13	13	明治4	9月	1871	尖頭	台鉤	杉	板目	85.0	82.2	18.0	18.0	1.1	奉建速業齋鳴命/正時吾勝々速日天忍櫻耳命/天満天神 宮遺真公命	【大工】藤原恒安(飯高七日市村)	黒瀧天神社の造営
14	14	明治1 1	4月	1878	尖頭	台鉤	桧	板目	98.4	95.4	24.2	24.0	2.5	奉造営遷黒瀧神社誓原大神		黒瀧神社の造営
15	15	明治3 1	2.7	1898	尖頭	台鉤	桧	柱目	110.0	105.4	24.0	24.0	1.7	奉式年遷宮黒瀧神社		黒瀧神社の式年遷宮
16	16	大正9	12.4	1920	尖頭	台鉤	桧	板目	106.1	100.2	23.7	23.8	1.5	奉斎黒瀧神社祭神一彦躰正一位太政大臣菅原道真公命		式年遷宮
17	17	昭和1 5	10.23	1940	尖頭	台鉤	桧	板目	78.8	73.2	20.2	20.2	2.3	奉斎黒瀧神社御遷宮祭		黒瀧神社の式年遷宮
18	18	昭和2 5	10.1	1950	尖頭	台鉤	桧	板目	94.6	89.2	23.3	23.3	2.1	奉遷宮黒瀧神社御座十八社		
19	19	昭和3 5	3.25	1960	尖頭	台鉤	桧	板目	94.5	88.6	21.2	21.3	1.8	奉遷宮黒瀧神社御座神蓋再興		輪皮を銅板に改修
20	20a			1980	尖頭	台鉤	桧	板目	77.5	75.4	25.4	25.6	1.9	奉斎遷宮		彩色塗装
21	20b		3.29	1980	尖頭	台鉤	桧	板目	88.1	83.1	28.4	26.7	2.5			二枚合わせ
22	21	平成2	4.15	1990	尖頭	台鉤	桧	板目	92.4	90.8	27.0	27.4	2.8	奉斎中遷宮		本殿の修理

【告 示】三重県教育委員会告示第 2 号

(R5.2.7 発行三重県教育公報第 1800 号)

【指定日】令和 5 年 1 月 27 日

【所在地】松阪市下七見町 118

【所有者】安養院

【年 代】木造十一面観音立像：鎌倉時代後期

木造雨宝童子立像・木造難陀龍王立像：江戸時代前期

《概要》

木造十一面観音立像は松阪市下七見町にある曹洞宗安養院の本尊で、木造雨宝童子立像・木造難陀龍王立像はその脇侍である。三尊とも厨子内に安置されており、60 年に 1 度開帳される秘仏である。

木造十一面観音立像は鎌倉時代後期の優れた出来栄を示す等身大の像で、方座上に立って錫杖を執る、いわゆる長谷寺式の姿をとる。像容からみて院派系仏師の作



である可能性が高い。また、木造雨宝童子立像・木造難陀龍王立像は江戸時代の作で、長谷寺式十一面観音の三尊を構成する脇侍であることから、本尊とともに中世以来の長谷寺の十一面観音信仰と伊勢地域での展開を示す点で重要である。

《特徴》

木造十一面観音立像

【法量】

本尊 像高 174.4cm、髪際高 157.2cm

頂－顎 37.2cm、面長 20.7cm、面幅 17.6cm、耳張 23.2cm、面奥 24.4cm

胸奥左 26.7cm (条帛含む)、胸奥右 26.7cm、腹奥 32.7cm (条帛含む)、肘張 56.8cm

裾張 48.5cm、足先開外 35.6cm、足先開内 21.8cm

光背 高さ 208.0cm (頭光上まで)、幅 111.8cm

台座 高さ (前面) 35.8cm、高さ (左奥最大高) 47.2cm、框幅 106.3cm、框奥 72.4cm

【形状】

頭部に垂髪を結び、髪に頂上仏面を、頭上に十一面の頭上面 (現状三面分が残る) および化仏を戴く。天冠台は、紐二条、列弁 (二段) とし、正面、こめかみ上部、両耳後の五か所で稜 (下向き) を作り上向きの弧を連ねた形にあらわす。冠繒をつける。鬢髪一束耳

を渡る。髻は毛筋彫り、地髪部（後頭部を含む）は疎彫りに毛筋彫りをあらわす。耳朵環状、白毫相（水晶）、三道相を表す。耳孔貫通し、鼻孔を穿つ。条帛は衣端を左胸前で内から外へ出す。裙を着け、正面で右前に打合せ、上部一段折り返す。腰布を巻き上縁を折り返し、腹前で結び目をあらわす（亡失）。天衣をかける。胸飾を付ける。左手は屈臂して腹の高さで水瓶を執り、手首に念珠をかける。右手は垂下して掌を正面に向けて第一指を曲げ、他指をのばし、錫杖を執る。臂釧、腕釧を着ける。右膝をやや曲げ、右足先をわずかに前に出して立つ。

台座は方座（金剛宝盤石）、岩座、框からなる。

光背は舟形、周縁は宝相華唐草文とし、化仏を4か所に配す（ただし右側の2か所は亡失）。

【品質構造】

針葉樹材（ヒノキか）、寄木造、玉眼、漆箔。

頭体通して正中及び両耳半ばから脇下を通る線で前後左右に四材を矧ぎ、内剝りを施して三道下にて割首する。髻は左右に三材を矧ぎ寄せ（中間材幅2cm）、丸柄にて頭部に差し込む。頂上仏面、頭上面、化仏別材製。体部には襟後ろより地付部に至る、左右二材からなる背板材を矧ぎ足し、両腰下の体側部にもそれぞれ前後二材を矧ぎ足す。両手は肩、肘、手首でそれぞれ矧ぎ、一部指先別材製。両足先別材。天衣遊離部別材製。像表面は矧ぎ目に布張りし、錆下地を施して漆箔仕上げとする。

【保存状態】

頭上面三面（菩薩面二、大笑面一）、天衣の一部、錫杖の一部、以上別置。

条帛先端部、銅製装身具、持物、台座、光背、以上後補。一部の頭上面、化仏、左第一指、第二指から五指の半ばから先、両足前を渡る天衣の大半、光背の上端、以上亡失。

【制作年代】

鎌倉時代後期

木造雨宝童子立像

【法量】

像高（五輪塔含む）104.8cm、髪際高（五輪塔下まで）89.3cm

（五輪塔前）頂－顎 14.5cm、面長 10.7cm、面幅 10.0cm、耳張 13.6cm（頭髪含む）、

面奥 13.7cm、胸奥左 14.1cm、胸奥右 14.6cm、腹奥 19.3cm、肘張 33.6cm

裾張 27.6cm、足先開外 16.2cm、足先開内 5.3cm

台座 高さ 29.9cm、幅 59.2cm、奥 49.9cm

【形状】

頭上に五輪塔を頂き、髪を左右に振り分け背後に垂らす。内衣、袍、裙を着ける。胸、腹を帯で締める。腕釧を着ける。沓を履く。左手を屈臂し、胸の高さで宝珠を執る。右手は掌を下に向けて宝杖をつく。右足をわずかに踏み出して荷葉座上に直立する。

台座裏面に墨書「大神宮」。

【品質構造】

寄木造、玉眼、檀色仕上。

頭部前後三材製として、内剝りを施し、玉眼を嵌入して首柄挿しとする。体部は前面材と背面材の間に肩で前後二材に材を挟み、体側に両手両袖を含む各一材を矧ぎ、箱状に木

寄せする。右手後方外側に上下二材を矧ぎ足す。頂上五輪塔、左手先、持物、右手先を別材製とする。両沓先別製。

像表面は赤みを帯びており、染料により檀色に染めているとみられる。髪はわずかに薄い墨を乗せるか。五輪塔、腹帯、腰帯、持物、金箔仕上げ、沓は墨。

【保存状態】

良好

【制作年代】

江戸時代前期

木造難陀龍王立像

【法量】

像高（総高・龍を含む）119.6cm、像高（龍を含まない現状）112.5cm

像高（帽子上まで）100.6cm、髪際高（帽子下）90.0cm

頂（正中の冠上）－顎（髭先）22.7cm、面長（冠下-髭の付け根）10.4cm、面幅 10.0cm、耳張 13.7cm、面奥 13.4cm、胸奥左 15.7cm、胸奥右 16.7cm、腹奥 19.9cm、肘張 34.2cm

裾張 30.3cm、足先開外 17.9cm、足先開内 6.3cm

台座 高さ 31.8cm、幅 59.2cm、奥 44.1cm

【形状】

龍戴付きの道冠^{どうかん}を被る。顎髭をあらわす老相とする。內衣、袍、がい襦衣、裙、腕釧を着ける。胸前に両手で岩を載せた盤をささげる。腰帯を巻き、左腰に太刀を帯びる。沓を履く。右足をわずかに踏み出して荷葉座上に直立する。

台座裏面に墨書「春日」。

【品質構造】

寄木造、玉眼、檀色仕上。

頭部耳前を通る線で前後二材製とし、内剝りを施して玉眼を嵌入し首柄挿しとする。

体部は前面材と背面材を肩材でつなぎ、両手・両袖を含む体側部に一材を矧ぎ寄せ箱状とし、左体側部と体幹部の間に薄板材を矧ぎ足す。両手前膊半ばより先、手先別材製。両沓先別製。頭上に掲げる龍は頭部、体部、足先等を別材製とする。持物別材製。

像表面は赤みを帯びた染料にて檀色に染める。髪はわずかに薄い墨を乗せるか。腹帯腰帯金箔仕上げ、沓は墨。冠や金具、龍は漆箔仕上げ。龍の火炎部は赤色彩色。

【保存状態】

道冠の龍の首から上、左手先、以上別置。

【制作年代】

江戸時代前期

《位置づけ》

安養院本尊像で、方座（金剛宝盤石）上に立って錫杖を執る、いわゆる長谷寺式十一面観音立像を中心に、脇侍として兩宝童子立像と難陀龍王立像を伴った三尊像である。中尊の右手の曲げた親指は当初を残しており、長谷寺式の十一面観音像として造立されたことは明らかである。

等身の大きさに造像された十一面観音立像は、頬に張りがあり、まなじりをやや切り上げ、口元を引き締めた風貌には整いがみられる。体軀は分節をあまり強調せず、厚みを伴った重量感ある印象で、腰下のにぎやかで複雑な着衣の表現などとともに、南北朝時代の様式に近づいた、鎌倉時代後期、13世紀末～14世紀前半ごろの作風を示す。同時期の慶派仏師や善派仏師の作例とも異なる落ち着いた整いのある風貌は、島根県・浄音寺の院豪作十一面観音立像や、京都市所蔵の院浄作地藏菩薩立像などに通じるところがあり、本像も院派に連なる仏師の手になるものと推察される。

安養院の所在するかつての飯野郡は、度会郡・多気郡とあわせて神宮の経済基盤である神三郡にあたり、度会氏の影響力が強い地域であった。「尼西阿弥陀仏・度会晴秀連署田地施入状案写」（内閣文庫蔵『光明寺古文書』）によれば、嘉元2（1304）年4月に、外宮権禰宜の度会晴秀と西阿弥陀仏が亡娘の度会千松子の遺言に基づき、「伊勢国飯野郡長田郷安養院」に田地を施入していることが分かり、本像造像との関連性も考慮される。度会氏の氏寺であった伊勢市・常明寺から神仏分離の際に寺外へと流出し、現在読売新聞社所蔵となる正安3（1301）年院命作の妙見菩薩立像の存在もまた、重要な関連情報といえる。

両脇侍像は、一見素木を思わせるが、表面を檀色仕上げとした丁寧な出来栄で、作風も鎌倉時代の作例を範として忠実に再現したところがある。造像時期は江戸時代に入り、当初より両脇侍を伴う三尊として安置されていたかは不明であるが、奈良・長谷寺の本尊十一面観音立像の両脇侍（難陀龍王像は正和5（1316）年、雨宝童子像は天文（1538）7年の作）と姿を比較すると、雨宝童子では、長谷寺像は角髪を結び、天冠を被り、長い宝棒の半ばを握るのに対し、安養院像は髪を後方に垂らして頭上に五輪塔を頂き、右手を垂下して宝棒の頭に掌を置くという金剛證寺の雨宝童子像などと共通する姿をとる。また難陀龍王では、長谷寺像は開口して上歯列をのぞかせ、眉根を寄せて瞋目するが、安養院像は穏やかな通例の老相である。このように多少の姿の相違はあるものの、台座内に「大神宮」（雨宝童子）、「春日」（難陀龍王）の墨書があることも含め、総じて雨宝童子および難陀龍王であることは明らかである。この三尊形式が十一面観音立像の造像期まで遡るのかどうかは不明ながら、遅くとも江戸期には長谷寺の三尊形式が当地に受容されたことを示している。

《評価》

十一面観音立像は鎌倉時代後期の優れた出来栄を示す等身大の院派系仏師の作であり、安養院と神宮・度会氏との関連も想定され、また伊勢地域における長谷寺式十一面観音信仰の展開を考える上においても、美術史・宗教史・地域史上に重要な作と考えられる。また長谷寺式十一面観音の三尊を構成する両脇侍像も、比較的大型で、近世の同種の像の中でも作行が優れており、中世以来の長谷寺の十一面観音信仰が、遅くとも近世に当地へと受容されたことを示す点で価値が高い。

以上により、木造十一面観音立像を県指定文化財（彫刻）に、両脇侍像をその附として指定し、今後も県として未永く保護をはかる。

参考文献

- ・松阪市『松阪市史』（第三巻、1980年）
- ・和光大学芸術学科日本彫刻史ゼミナール『三重・松阪市仏像調査報告書』（1987年）

2 国指定等文化財の指定等

(1) 重要文化財（建造物）の指定

【建造物】^{すがしまとうだい}菅島灯台

1 棟

指 定 日：令和4年9月20日

所 在 地：鳥羽市菅島町

所 有 者：海上保安庁

建築年代：明治6年

概 要：菅島灯台は、志摩半島北東端の鳥羽港沖に浮かぶ菅島に設置されている灯台である。鳥羽は近世以来、海路の要所かつ難所として知られ、江戸時代には幕府が^{かがりびどう}篝火堂を設けていた。菅島灯台は、篝火堂に代わって明治政府が明治6年に建設した洋式灯台で、設計は明治初期の洋式灯台を多く手がけた明治政府のお雇い外国人技師である、英国人のリチャード・ヘンリー・ブラントンが行っている。



菅島灯台の敷地は、菅島の東端に位置し、南東が崖地で海に面している。灯台の建築面積は

21.02㎡、総高は11.0mで、煉瓦造灯塔の上に金属製の灯籠を乗せ、灯籠の周囲を踊り場とする構成で、全体を白色に塗装している。海面から灯火までの高さは55.1m、光達距離は7.5海里（約14km）。近代海上交通史上価値が高く、現存する最古の煉瓦造灯台であるとともに、現存する煉瓦造建造物としても最古級のものであり、貴重な文化財である。

(2) 天然記念物の追加指定

^{おいけしょうたくしよくぶつぐんらく}御池沼沢植物群落

令和5年3月20日追加指定

追加指定日：令和5年3月20日

所 在 地：四日市市西坂部町字御池、字足洗

所 有 者：四日市市ほか

概 要：伊勢湾西部の台地の端に形成された湿原と溜池、湿林からなり、寒地性のヤチヤナギと暖地性のミクリガヤガ元々一つの湿地に生育し、ヤチヤナギは自生の南限の一つにあたりと認められる。また、ミミカキグサなど各種の食虫植物が豊富に生育している



こと、東海地方固有のシラタマホシクサなどの群落があること、その他多くの珍しい植物が生育していることを特徴とする湿地として、植物学上貴重な植物群落と評価されている。

指定地は、西部と東部の2箇所からなる。指定は昭和27（1952）年10月11日で、当時11筆が指定され、その後、昭和51（1976）年03月31日に8筆追加指定、昭和54（1979）年06月25日に1筆追加指定された。

今回、条件の整った湿地内を流れる水路（西部指定地）が追加指定された。

(3) 有形文化財（建造物）の登録

24-0313 恵日山観音寺観音堂

えにちざんかんのんじかんのんどう

1 棟

登録日：令和4年6月29日

所在地：津市大門

所有者：宗教法人観音寺

建築年代：昭和43年

登録基準：(二) 造形の規範となっているもの

概要：恵日山観音寺は、津市の大門地区にある津観音として信仰を集めている寺院。本堂であった以前の観音堂は、慶長18（1613）年の完成とされ、大正6（1917）年に国の特別保護建造物に指定されていた。当時は、仁王門を構え、境内の塔頭寺院を含めて41棟が建ち並ぶ大伽藍であったが、昭和20（1945）年の戦火で全てを焼失した。

現在の観音堂は、建築史家である村田治郎氏の監修により復元され、建物の構造材や外観は、焼失を避けるための鉄筋コンクリート造となっているが、内部の小屋組や天井などの内装には木が使われている。規模は、焼失前に比べて若干小さくなっているが、建物外廻りの組物の意匠など、全体によく旧態を伝えており、戦災による復興建築の好例。境内には、観音堂のほか仁王門や鐘楼なども復元され、市内外からの多くの参拝者が訪れる、津のシンボリック存在として親しまれている。



24-0314～0315 旧小湊医院 診療棟・住居棟

きゅうおぶちいん

2 棟

登録日：令和4年6月29日

所在地：津市一志町波瀬

所有者：個人

建設年代：診療棟：昭和11年、住居棟：昭和11年

登録基準：診療棟：(二) 造形の規範となっているもの

住居棟：(一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの

概要：旧小湊医院は、一志町波瀬につくられた個人医院で、平成18（2006）年まで医院として使われていた。建物は庭をはさんで敷地の西奥に道路側を入口として建てられ、平屋建の診療棟に二階建ての住居棟が取り付いている。

診療棟は、水色のモルタル仕上げに黒く塗られた縦長の窓を持つ外観など、洋風のつくりとなっている。玄関を上った場所が待合室となっており、向かって右に受付・調剤室、左に診療室が配置されている。これらの部屋の奥は、廊下によって仕切られた居住部分となっている。住居棟は、診療棟の居住部分の奥に左側に折れ曲がって接続する2階建て和風の建物で、1・2階ともに南端に座敷や和室が配置されているが、庭に面して折れ曲がった縁側の付く凝ったつくりとなっている。旧小湊医院は、洋風の診療部分と和風の居住部分が一体となった、落ち着いた佇まいを今に伝えている。



24-0316 きゅうやまとむらやくば 旧倭村役場 (ハッレ倭)

1 棟

登録日：令和4年6月29日

所在地：津市白山町中ノ村

建設年代：昭和11年

登録基準：(一) 国土の歴史的景観に寄与する

概要：旧倭村役場は、初瀬街道に北面して建てられた木造二階建ての旧村役場。旧倭村は、現在は津市白山町の一部で伊賀との旧国境に位置した。



明治22(1889)年に周辺の5村が合併して佐田村となり、明治24(1891)年に改称して倭村となった。その後、倭村は昭和30(1955)年の市町村合併で白山町、平成18(2006)年に津市の一部となった。外観は、下見板張りに長方形の窓を並べた簡明な洋風のつくりである一方、懸魚がつけられた切妻屋根の車寄をもつなど、和風の意匠も取り入れられている。一階はカウンター越しに広い事務室があり、奥には村長室や小使室などが配置されている。二階は床張りの議場と畳敷きの控室となっており、村役場の旧態がよく残る建物である。市町村合併後は倉庫等に使われていたが、令和2年に民間所有となり、現在は、クラウドファンディング等によって修理され、町おこしの活動拠点として積極的に活用されている。

24-0317~0319 きゅうよしだいいん 旧吉田医院 主屋・入院棟、門

3 棟

登録日：令和4年6月29日

所在地：津市白塚町

所有者：個人

建設年代：主屋：昭和14年、入院棟：昭和24年

門：昭和14年頃

登録基準：主屋：(二) 造形の規範となっているもの

入院棟・門：(一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの



概要：津市白塚町の旧漁村につくられた個人医院で、昭和49(1974)年に国道沿いに移転するまで診療が行われており、現在は建物の一部が看護師寮として使用されている。

主屋は、和風の玄関棟と居住棟、洋風の診療棟からなり、診療棟は白壁に黒く塗られた窓枠が印象的な洋風の平屋で、待合室・薬室・診療室・レントゲン室がある。居住棟は2階建てで、1・2階ともに「田」字型に配置された落ち着いた趣の和室や洋室がある。

入院棟は、主屋の居住棟と廊下でつながれている和風の平屋。主屋側に廊下があり、3室の入院室とお手洗い室があり、引違ガラス戸と押し入れを備える簡素なつくりである。門は1対の石柱の間に渦巻飾りと突針で装飾された鉄製のアーチが架けられ、中央に照明を吊るした痕跡の残る洋風の門で、洋風医院の正門として道沿いの景観を整えている。

旧吉田医院は、洋風の診療部分と和風の居住部分を持つ典型的な洋風医院であり、入院棟と門も備えて地域医療の様子を今に伝えている。

24-0320 すみかわけしゅうたくおもや 住川家住宅主屋

1 棟

登録日：令和4年6月29日

所在地：名張市新田

所有者：個人

建設年代：明治中期／大正後期改修

登録基準：(一) 国土の歴史的計画に寄与している

概要：住川家住宅は松阪市から奈良県桜井市の初瀬に至る初瀬街道新田宿の南端近くに、街道に面して建てられた茅葺の農家である。



向かって左側は土間で、右側は街道側から敷地奥に向けて、格子戸のついた縁側、3部屋の和室、2部屋の和室が配置されている。街道側の奥の間には仏壇と床の間があるが、現在、床の間は物置となっている。現在の床の間は、大正後期に寝間を改修した下座敷に設けられており、(下座敷は、平成11(1999)年に壁の塗り替えなど内装を改修)下座敷に隣接する茶の間は、3本の溝が切られた差し鴨居など、古式のつくりを伺うことができる。

玄関土間も大正後期に改修されており、昔は玄関から台所まで通り土間で、牛も飼っていたそうだが、現在はその痕跡はなく、台所との間に間仕切りが設けられている。なお、現在も土間からは梯子で屋根裏に上ることができ、小屋組を見上げることができる。

住川家住宅は、風情のある茅葺の農家で、街道の宿場町の趣を今に伝えている。

24-0321 おもちゃぼこ いたうけしゅうたくどそう 於茂千也函 (伊藤家住宅土蔵)

1 棟

登録日：令和4年10月31日

所在地：四日市市富田

所有者：個人

建設年代：江戸末期／明治前期・昭和前期改修

登録基準：(二) 造形の規範となっているもの

概要：四日市市富田にある、土蔵を改造して郷土



玩具(県指定有形民俗文化財・蝙蝠堂民俗玩具)を収納・展示している建物である。伊藤家は、江戸時代には網元・鋳物業を生業としていたが、明治時代に造り酒屋に替わった。二代目が郷土玩具を集め、三代目が家業を継ぐと全国的に郷土玩具収集がブームとなったこともあり、収集に拍車がかかった。昭和初期には酒屋を人に譲り、酒蔵を収蔵庫に改修して玩具の展示を行った。「於茂千也函」は、当時、収蔵庫はもう1棟あり、三代目の雅号である「伊藤蝙蝠^{ふくどう}」から「蝙蝠^{こうもりどう}」と名付けられ、これらの玩具は、昭和31年に「蝙蝠堂民俗玩具」として三重県の有形民俗文化財に指定された。

「於茂千也函」の東半は、板間の玩具収納室で、西に次の間、書院付きの奥座敷が続く。次の間の天井は数寄屋風の凝った作りで、鬼瓦や、奥座敷の釘隠しにコウモリの意匠が使われるなど、玩具集めに興じた趣味人に相応しい数寄屋風座敷として興味深いつくりとなっている。

登録日：令和4年10月31日

所在地：志摩市大王町波切

所有者：個人

建設年代：主屋・作業場：昭和26（1951）年

登録基準：（一）国土の歴史的計画に寄与している

概要：かつおの天ぱくは、太平洋を望む大王崎にある、鰹節を製造するための作業場と住居である。大王町では鰹節加工が盛んであったが、現在、操業しているのは数店となっている。



かつおの天ぱくの敷地の南側は、道路を挟んで海に続く崖となり、東側は一段高い崖となっている。平屋建の主屋は、敷地の北端に建てられており、東側は厨房とクドで、西に仏壇を持つ寝間と居間、4畳間と床のある座敷が続く。平成10年頃、ここに居住しなくなっただけからは、4畳間は商品の陳列場所、他の部屋は物置として使われるようになった。

敷地の南東端には、平屋建の「いぶし小屋」と、二階建の「かびつけ小屋」を一体で建て、主屋との間の空間を大屋根で覆って作業場としている。作業場の西端には、カツオを浸け置きする水槽や煮るための煮熟しゃじゆくかまも設置されている。「いぶし小屋」は、モルタル仕上げの焙乾窯を設置している。この上にセイロを並べて燻すため、2方の壁がほとんどない開放的なつくりとなっている。一方、「かびつけ小屋」は開口部が少なく、温湿度の調整が必要な「かびつけ」作業に適したつくりとなっている。かつおの天ぱくは、志摩市大王町の伝統的な産業である鰹節製造の伝統的な工程が現在も行われている貴重な建造物である。

3 市町指定文化財の指定等

(1) 指定

市町	種別	名称	所在地	所有者 (保持団体)	指定日
津市	有形文化財 (美術工芸品)	三十六歌仙扁額	津市藤方 2339	宗教法人 津八幡宮	R4.7.1
明和町	無形民俗文化財	上村のシメナワ日待ち	多気郡明和町上村	上村自治会中組	R5.2.27
度会町	有形文化財 (考古資料)	森添遺跡出土品	度会町中之郷	度会町	R4.6.22
大紀町	史跡	熊野古道伊勢路 三瀬坂峠	度会郡大紀町滝原	大紀町	R4.10.19
伊賀市	有形文化財 (絵画)	若宮八幡神像	伊賀市別府 718 番地の3	伊賀市	R5.3.20
名張市	有形文化財 (工芸品)	石造五輪塔	名張市短野 919 番地	個人	R5.3.2

(2) 解除

市町	種別	名称	所在地	所有者	解除日
松阪市	建造物	黒瀧神社本殿 附棟札等	三重県松阪市飯高町森 129 番地	宗教法人 黒瀧神社	R5.1.27
松阪市	彫刻	木造十一面観音立像及び両脇侍像	三重県松阪市下七見町 118	安養院	R5.1.27
熊野市	史跡	寺谷御仕入方質倉	熊野市五郷町寺谷 825	個人	R4.11.8

(3) 一部解除及び名称変更

市町	種別	名称	所在地	所有者	解除日
伊賀市	天然記念物	旧：澤村家のケヤキとしなのがき 新：澤村家のケヤキ	伊賀市川東 1650-2	個人	R5.3.20

4 三重県文化財保護審議会

(1) 審議会委員 (任期: 令和4年9月24日~令和6年9月23日) ※所属は令和4年度

氏名	担当分野	所属
黒田 龍二	建造物	神戸大学大学院名誉教授
岡田 昌彰	建造物	近畿大学教授
谷口 耕生	絵画・工芸	奈良国立博物館室長
山口 泰弘	絵画・工芸	三重大学特任教授
永島 明子	絵画・工芸	京都国立博物館室長
大河内 智之	彫刻	奈良大学准教授
松岡 久美子	彫刻	近畿大学准教授
岡野 友彦	文書・典籍・歴史資料	皇學館大学教授
岡嶋 偉久子	文書・典籍・歴史資料	天理大学附属天理図書館稀書目録室長
板井 正斉	民俗	皇學館大学教授
鬼頭 秀明	民俗	中京大学非常勤講師
広瀬 和雄	考古資料・史跡・埋蔵文化財	国立歴史民俗博物館名誉教授
小澤 毅	考古資料・史跡・埋蔵文化財	三重大学教授
高橋 知奈津	名勝・埋蔵文化財	奈良文化財研究所研究員
森 誠一	天然記念物(動物)	岐阜協立大学大学院教授
前迫 ゆり	天然記念物(植物)	大阪産業大学大学院教授
道林 克禎	天然記念物(地質・地形)	名古屋大学大学院教授
浅野 聡	保存・活用	三重大学教授

(2) 審議会

第1回	日時	令和4年7月25日(月) 13時30分~16時00分
	場所	三重県庁 7階 教育委員室
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ○報告 令和4年度文化財保護事業について 国指定等文化財の指定等について 国・県指定文化財の現状変更等について 「三重県文化振興条例(仮称)」の制定に向けた検討について 旧三重県第三尋常中学校校舎 建造物耐震補強工事 ○諮問 令和4年度三重県指定候補文化財について ○審議 令和4年度三重県指定候補文化財の選考及び調査について
第2回	日時	令和4年12月27日(火) 13時30分~16時00分
	場所	三重県庁 7階 教育委員室
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ○報告 国指定等文化財の指定等について 国・県指定文化財の現状変更等について ○審議 令和4年度三重県指定候補文化財の選考及び調査について ○答申 令和4年度三重県指定候補文化財の指定について

II 県実施の調査・保護事業

1 特天 カモシカ 天然記念物食害対策事業

【事業費 5,910,935 円 (国 2/3 3,940,000 円、県 1,970,935 円)】

(1) 紀伊山地カモシカ保護地域通常調査

概ね 8 年に一度実施されるカモシカ保護地域特別調査の補完のため、特別調査が実施されない年度に、カモシカの生息状況や生息環境の年次変化を把握するための調査である。

調査指導員	富田靖男 (元三重県立博物館長)、山本和彦 (三重県文化財保護指導委員) 高柳 敦 (京都大学大学院農学研究科准教授)、橋本幸彦 (九州保健福祉大学非常勤講師)			
現地調査員	松 阪 市	木下 幸一・木下 康次	紀北町 旧海山町	平山 彰也・世古 錬
	大 台 町	中須 真史・橋爪 弘樹	尾 鷲 市	吉澤 映之・吉澤 恵美
	紀北町 旧紀伊長島町	濱口 敬伍・深瀬 優貴		
連絡会議	開 催 日	令和 4 年 11 月 27 日 (日) 大台町役場 会議室		

(2) 鈴鹿山地カモシカ保護地域 第 6 回特別調査

特別調査は、カモシカ保護地域におけるカモシカ個体群の安定的維持を目的とした保護管理施策の実施に際して必要となる基礎資料を得るため、生息状況及びその変動、生息環境の評価などを概ね 8 年に 1 度、2 年間をかけて定期的に行っているモニタリング調査である。令和 4 年度は滋賀県と合同で実施した。業務の効率化等を図るため、鈴鹿山地を共有している関係 2 県の中から幹事県を決め、今回の調査は滋賀県が幹事県として調査委託に関する事務及び指導委員会の運営に関する事務を一括している。

調査指導員	富田靖男 (元三重県立博物館長)、山本和彦 (三重県文化財指導委員) 高柳 敦 (京都大学大学院農学研究科准教授)、橋本幸彦 (九州保健福祉大学非常勤講師) 村上興正 (元京都大学大学院講師)	
調査業務再委託	一般財団法人 自然環境研究センター	
連絡会議	開 催 日	令和 4 年 9 月 30 日 (金)、令和 5 年 2 月 22 日 (火)
	場 所	滋賀県庁、三重県庁

(3) 特別天然記念物カモシカ保護指導委員並びに保護行政担当者会議

全国の特別天然記念物カモシカの保護地域内およびその周辺における生息状況・個体群の動態、食害状況等について情報収集を行うとともに、今後の施策、食害対策等について協議する会議で、文化庁と開催地の地方公共団体が主催している。令和 4 年度は三重県で、オンライン併用方式により開催された。

開 催 日	令和 4 年 10 月 6 日 (木)・7 日 (金)
場 所	会議：三重県庁 吉田山会館 オンライン併用方式で開催 現地視察：御在所岳山上公園
参 加 者	富田靖男※、山本和彦※、高柳 敦、橋本幸彦 中川 実※、伊藤裕偉※、中井英幸、宮原佑治、水谷侃司、中村貴俊 (※は、10月6日のみ出席)

2 世界遺産熊野参詣道・無形文化遺産保存管理推進事業

【事業費 538 千円（県 538 千円）】

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」（平成16.7.7登録、平成28.10.24追加登録）の良好な保存管理のため、文化庁、奈良県・和歌山県、関係市町と連携した取組を行った。また、「海女漁の技術」のユネスコ無形文化遺産登録に向けた気運醸成を図った。

(1) 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会【三重県負担金 220 千円】

① 趣旨と構成

『世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会』（以下、三県協議会という）は、三重・奈良・和歌山の三県が、登録資産の保存・管理・活用の推進を目的に、平成17年度に設置した。会長・副会長・委員及び監事で組織されており、事務局は和歌山県（商工観光労働部観光振興課）に置かれている。三重県における役職の構成は、以下のとおり。

副会長 一見勝之（三重県知事）

委員 木平芳定（三重県教育委員会教育長）、河上敢二（熊野市長）、
中井克佳（紀北町教育委員会教育長）

監事 中川実（三重県教育委員会事務局育成支援・社会教育担当次長）

② 三県協議会総会

開催日時 令和4年8月23日（火）13:30~16:00

場 所 オンライン

議事内容 令和3年度の事業報告・決算・監査報告、令和4年度事業計画・予算案

事業計画 世界遺産の保存等に関する定期報告書の作成、保全状況のモニタリング調査と保存管理の実施、専門委員会の開催、行政担当者会議の開催、普及啓発活動（「紀伊山地の参詣道ルール」の周知）、シンボルマークの利用促進

③ 三県協議会専門委員会

開催日時 令和4年11月25日（金）12:30~16:00

場 所 九度山町中央公民館大会議室（和歌山県伊都郡九度山町大字九度山1190）

内 容 参詣道沿いの樹木の伐採について、大峰奥駆道・熊野参詣道小辺路の現況調査と今後の維持管理について、世界遺産追加登録に係る取り組み、熊野参詣道花の窟隣接地における国道拡幅工事及びバス停設置に伴うHIA結果、高野参詣道女人道の無断現状変更について、現地見学（高野参詣道町石道・紀の川慈尊院地区の堤防整備地周辺）

④ 第9回 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」行政担当者会議

開催日時 令和5年1月13日（金）13:30~15:40

場 所 奈良県市町村会館 中研修室（奈良県橿原市大久保町302-1）

内 容 テーマ：奥駆道・参詣道の現況確認と日常的な維持管理行為について
奈良県・和歌山県・三重県の今年度の状況と課題
ワークショップ：日常的な維持管理行為の課題と解決方法

(2) 県内の世界遺産保存管理

① 三重県世界遺産保全推進協議会幹事会

開催日時 令和4年8月26日（金）13:30~15:00

場 所 三重県尾鷲庁舎（尾鷲市坂場西町1-1）

内 容 世界遺産熊野参詣道の保存管理に関する課題

② 世界遺産講演会

開催日時 令和4年10月22日（土）13:30~15:00

場 所 BANKYO文化会館（多気郡多気町相可1587-1）

内 容 「世界遺産と地域住民—何が求められているのか—」
西和彦（文化庁文化資源活用課）

参加者 80名

(3) 無形文化遺産に関する情報発信

- ① 「風流踊」ユネスコ無形文化遺産登録記念「勝手神社の神事踊」パネル展
開催日時 令和4年12月1日（木）～12月16日（金）
場 所 三重県総合文化センター
- ② 三重・石川・福井3県海女漁合同パネル展示
開催期間・場所
令和4年9月22日（木）～10月30日（日）三重会場・三重県立図書館
令和4年12月1日（木）～12月28日（水）石川会場・うみとさかなの科学館
令和5年1月10日（火）～1月20日（金）福井会場①・三国コミュニティーセンター
令和5年1月24日（火）～2月3日（金）福井会場②・福井県生活学習館
- ④ 海女映像展
開催期間・場所
令和4年4月15日（金）～17日（日）三重・イオンスタイル津南
令和4年6月10日（金）～12日（日）北海道・イオン札幌
令和4年6月16日（木）～19日（日）埼玉・イオンスタイル越谷レイクタウン
令和4年9月8日（木）～11日（日）福岡・イオン福岡
令和4年11月3日（木）～6日（日）千葉・イオンスタイル幕張新都心
令和4年11月11日（金）～13日（日）愛知・イオン新瑞橋
令和4年12月2日（金）～4日（日）京都・イオンモール京都桂川

3 史 県内遺跡 発掘調査等事業

【事業費 16,102 千円（国 1/2 8,051 千円・県 1/2 8,051 千円）】

(1) 県営ほ場整備事業地内遺跡発掘調査【事業費 4,498 千円（国 1/2 2,249 千円・県 1/2 2,249 千円）】

県営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査費のうち、農家負担分補助事業。

（県営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査）

遺 跡 名	所 在 地	原 因	期 間	面積 ㎡	主要遺構、遺物
小片野新田 遺跡	松阪市小片野町	高度水利機能確 保基盤整備事業	R4.5.30～ R5.1.10	2,010	掘立柱建物、土坑、溝、ピット 土師器、施釉陶器、煙管、鉛玉、 銭貨
山ノ腰 A 遺 跡ほか	鈴鹿市徳田町	高度水利機能確 保基盤整備事業	R4.8.18～ R4.11.30	1,338	谷、溝、ピット、古墳、掘立柱建 物、火葬痕跡、土坑 弥生土器、土師器、須恵器、陶磁 器、銭貨、人骨

(2) 埋蔵文化財出土遺物保存処理【事業費 326 千円（国 1/2 163 千円・県 1/2 163 千円）】

亀山市井田川茶臼山古墳出土の鉄製品のうち、劣化が進みつつあるものについて保存科学的処
理を施し、恒久保存を図る。令和4年度は、合計2点の金属製品（鉄鏃、剣）の保存処理を実施。

委託：（株）吉田生物研究所

(3) 国史跡齋宮跡発掘調査【事業費 11,278 千円（国 1/2 5,639 千円・県 1/2 5,639 千円）】

国史跡齋宮跡の西部において、飛鳥時代の斜方位区画・奈良時代の東正方位区画の規模・構造
を把握し、飛鳥・奈良時代の齋宮の実態を解明するための調査として、約 225 ㎡の計画調査
（第 203 次）を実施した。

4 県内埋蔵文化財 地域の特色ある埋蔵文化財活用事業

【事業費 2,000 千円（国 1/2 1,000 千円・県 1/2 1,000 千円）】

学校等で出土品等の公開・活用や、埋蔵文化財を題材とした教材の製作・活用、および体験事業を実施して地域の魅力を理解し、地域に根差した人材の育成を行うことを通して、魅力ある地域づくりを目指した。

5 重文 三重県斎宮跡出土品 美術工芸品保存修理事業

【事業費 2,040 千円（国 1/2 1,020 千円・県 1/2 1,020 千円）】

斎宮跡出土品について保存修理を行う。令和 4 年度は土師器 4 点、製塩土器 1 点について、解体、クリーニング、強化処置、再接合、復元、補彩、保存処理を行った。

委託：（株）吉田生物研究所

6 重文 旧永島家襖絵〈曾我蕭白筆〉 防災施設整備事業

【事業費 20,073 千円（国 65% 84,424 千円・県 35% 45,460 千円）】

令和 3・4 年度事業として、三重県立美術館の防火・防犯設備改修を行った。

委託：展示品撤去復旧…日本通運株式会社三重支店、防排煙システム改修…株式会社岩田組、ガス消火設備改修…アイティ株式会社

Ⅲ 文化財補助事業等

1 国庫補助事業

(1) 建造物

事業者	(公財) 諸戸財団	事業名	重文 諸戸家住宅主屋ほか5棟 建造物保存修理		
所在市町	桑名市	総事業費	3,379,770,000	総事業期間	H22-R4
R4度事業額	456,840,000	国補助額	388,314,000	県補助額	12,000,000
事業内容	主屋ほか5棟の解体・半解体修理 R4度：広間…基礎工事、玄関及び座敷…仮設工事・基礎工事、玉突場…塗装工事・内装工事、主屋…仮設工事・基礎工事・木工事・屋根工事・左官工事・経師工事・建具工事・金具工事・雑工事、主屋洋室…仮設工事・木工事・屋根工事・左官工事・建具工事・塗装工事・内装工事・雑工事、表門…木工事・屋根工事・左官工事・雑工事・構造補強工事、発掘調査				
備考	設計監理：(公財)文化財建造物保存技術協会、工事請負：松井建設(株)名古屋支店、内装：(株)松井春峰堂、ステンドグラス補修：ステンドグラス工房 我羅、発掘調査：(株)文化財サービス				

事業者	(公財) 諸戸財団	事業名	重文 諸戸家住宅主屋ほか5棟 建造物保存修理(公開活用)		
所在市町	桑名市	総事業費	60,016,000	総事業期間	R4
R4度事業額	60,016,000	国補助額	45,012,000	県補助額	2,000,000
事業内容	キュービクル設置、トイレ設備ほか				
備考	設計監理：(公財)文化財建造物保存技術協会 工事請負：松井建設(株)名古屋支店、発掘調査：(株)文化財サービス				

事業者	(公財) 諸戸財団	事業名	重文 諸戸家住宅主屋ほか5棟 防災施設整備(建造物)(防災施設等)		
所在市町	桑名市	総事業費	130,535,000	総事業期間	R3-4
R4度事業額	65,267,000	国補助額	55,476,000	県補助額	4,895,000
事業内容	消火設備、自動火災報知設備、防犯カメラ、防犯センサー、非常放送設備、発掘調査				
備考	設計監理：永田設計事務所、工事請負：能美防災(株)中部支店、発掘調査：(株)文化財サービス				

事業者	桑名市	事業名	重文 旧諸戸家住宅洋館ほか1棟 建造物保存修理(公開活用)		
所在市町	桑名市	総事業費	11,191,000	総事業期間	R4-5
R4度事業額	5,058,000	国補助額	2,529,000	県補助額	354,000
事業内容	旧諸戸家住宅の保存と活用を図るため、保存活用計画の策定を目的とした資料調査、現地調査を実施した。また保存活用計画策定委員会を設置し、方針を協議した。				
備考	指導委員：菅原洋一(三重大学名誉教授)、井原縁(奈良県立大学教授)、伊藤弘(筑波大学准教授)、大井隆弘(三重大学助教)、諸戸公子(公益財団法人諸戸財団) 指導委員会：令和4年12月6日、令和5年3月6日 業務委託：株式会社継承社				

事業者	松阪市	事業名	重文 旧長谷川家住宅主屋ほか15棟 建造物保存修理		
所在市町	松阪市	総事業費	89,592,000	総事業期間	R4-R7
R4度事業額	22,120,000	国補助額	11,060,000	県補助額	1,548,000
事業内容	主屋ほか15棟の解体・半解体修理 R4度：構造図作成、保存修理工事基本計画、耐震診断および補強案策定、耐震補強工事基本計画				
備考	指導委員：菅原洋一(三重大学名誉教授)、林良彦、中島義晴(奈良文化財研究所)、花里利一(三重大学特任教授) 指導委員会：令和5年2月8日 委託：(公財)文化財建造物保存技術協会				

事業者	宗教法人 丸興山庫蔵寺	事業名	重文 庫蔵寺本堂及び鎮守堂 防災施設整備（建造物）（防災施設等）		
所在市町	鳥羽市	総事業費	33,050,000	総事業期間	R4
R4度事業額	33,050,000	国補助額	28,092,000	県補助額	3,305,000
事業内容	消火設備（消火ポンプ）、警報設備（自動火災報知設備、炎感知器）				
備考	設計監理：永田設計事務所、工事請負：（有）大進ハウジング				

事業者	鳥羽市	事業名	登録 旧鳥羽小学校校舎 登録有形文化財建造物保存修理（公開活用）		
総事業費	94,120,816	総事業期間	H26-R6		
R4度事業額	4,741,090	国補助額	3,081,000	県補助額	—
事業内容	耐震補強工事（校舎外壁改修）				
備考	技術指導：（株）文化財構造計画、工事請負：（株）亀川組				

事業者	個人	事業名	登録有形文化財（建造物）田中家住宅主屋 美観向上整備		
所在市町	津市	総事業費	10,344,290	総事業期間	R4
R4度事業額	10,344,290	国補助額	6,723,000	県補助額	—
事業内容	茅葺屋根の葺き替え				
備考	工事請負：株式会社木村				

（2）美術工芸品

事業者	宗教法人 専修寺	事業名	重文 専修寺聖教 美術工芸品保存修理		
所在市町	津市	総事業費	54,697,000	総事業期間	H21-R5
R4度事業額	3,594,842	国補助額	1,976,000	県補助額	359,000
事業内容	専修寺聖教 82点のうち、「見聞集」「聖法輪蔵四・五・廿三」「選択本願念仏集上 一・二・四」7点の修理（令和3年度・令和4年度の2か年計画）				
備考	委託：（株）松鶴堂				

事業者	松阪市	事業名	重文 松浦武四郎関係資料 美術工芸品保存修理		
総事業費	52,928,000	総事業期間	H25-R5		
R4度事業額	3,030,000	国補助額	1,515,000	県補助額	—
事業内容	松浦武四郎関係資料のうち「白衣観音図」（掛幅装、1幅）・「洪団扇帖 三」（折本装、1帖）の修理				
備考	委託：（株）坂田墨珠堂				

事業者	宗教法人 常福寺	事業名	重文 木造阿弥陀如来立像（本堂安置） 美術工芸品保存修理（防災設備・非公共）		
所在市町	津市	総事業費	610,000	総事業期間	R4
R4度事業額	610,000	国補助額	385,000	県補助額	59,000
事業内容	収蔵庫扉の再塗装。塗装工事にあたっては重要文化財を梱包し収蔵庫内で保管。				
備考	委託：中西塗装、日本通運株式会社三重支店				

(3) 無形文化財

事業者	伊勢型紙技術保存会	事業名	重無 伊勢型紙 無形文化財(伝承) 団体		
所在市町	鈴鹿市	総事業費	276,590,000	総事業期間	H5-
R4度事業額	11,570,000	国補助額	10,000,000	県補助額	700,000
事業内容	技術錬磨のため複製作品の作成や伝承者の養成のための研修講座、原材料(型地紙)や諸道具の確保による技術保存				

(4) 民俗文化財

事業者	桑名石取祭保存会	事業名	重無民 桑名石取祭の祭車行事 民俗文化財伝承・活用等		
所在市町	桑名市	総事業費	65,582,212	総事業期間	H24-
R4度事業額	5,327,548	国補助額	2,663,000	県補助額	532,000
事業内容	馬道祭車漆塗り等修理(3年計画の2年目)、新町祭車破魔鉄輪等修理、上野町祭車十二張山型新調、京町祭車破魔修理				
備考	伝承部会委員:長谷川嘉和(同志社大学非常勤講師)、鬼頭秀明(中京大学講師)、藤井健三(元京都市産業技術研究所繊維技術センター研究部長)、山崎剛(金沢美術工芸大学学長)、黒田大介(鈴鹿工業高等専門学校教授)、二宮義信(慶二級建築設計事務所) 保存伝承部会:令和4年5月13日、令和4年9月9日、令和4年11月14日、令和5年2月21日 請負:漆工芸 塗師音(馬道祭車)、三輪建築(新町祭車)、有限会社 八野大工(上野町・京町祭車)				

事業者	上野文化美術保存会	事業名	重無民 上野天神祭のダンジリ行事 民俗文化財伝承・活用等		
所在市町	伊賀市	総事業費	62,220,080	総事業期間	H28-
R4度事業額	3,780,015	国補助額	1,890,000	県補助額	378,000
事業内容	福居町楼車左・右・後水引幕復元修理(3年計画の1年目)				
備考	審議会委員:長谷川嘉和(同志社大学非常勤講師)、久保智康(京都国立博物館名誉館員)、藤井健三(元京都市産業技術研究所繊維技術センター研究部長)、福田良彦(伊賀市文化財審議会委員)、二宮義信(慶二級建築設計事務所) 審議会:令和4年7月5日、令和4年10月14日、令和5年2月13日 請負:株式会社 龍村美術織物				

事業者	富田鯨船保存会連合会	事業名	重無民 鳥出神社の鯨船行事 民俗文化財伝承・活用等		
所在市町	四日市市	総事業費	16,039,255	総事業期間	R1-
R4度事業額	6,058,173	国補助額	3,028,000	県補助額	605,000
事業内容	南島組鯨船感應丸屋形屋根幕復元新調(2年計画の1年目)				
備考	指導委員:鬼頭秀明(四日市市文化財保護審議会委員)、久志本まどか(四日市市文化財保護審議会委員)、藤井健三(西陣織会館顧問)、野村史隆(元海の博物館職員)、二宮義信(慶二級建築設計事務所)、山崎剛(金沢美術工芸大学学長) 修理指導委員会:令和4年7月12日、令和4年10月4日、令和5年2月28日 請負:百武打敷店				

事業者	桑名石取祭保存会	事業名	重無民 桑名石取祭の祭車行事 地域の伝統行事等のための伝承事業		
所在市町	桑名市	総事業費	3,796,910	総事業期間	R4
R4度事業額	3,796,910	国補助額	3,123,000	県補助額	—
事業内容	鉦新調				
備考	専門家指導:黒田大介(鈴鹿工業高等専門学校教授) 指導日:令和5年3月25日 請負:有限会社 光陽製造所				

事業者	富田鯨船保存会連合会	事業名	重無民 鳥出神社の鯨船行事 地域の伝統行事等のための伝承事業		
所在市町	四日市市	総事業費	12,300,802	総事業期間	R4
R4度事業額	12,300,802	国補助額	12,238,000	県補助額	—
事業内容	北島組・中島組・南島組・古川町稚児衣装（どんざ）復元新調				
備考	専門家指導：藤井健三（西陣織会館顧問） 指導日：令和4年4月28日、令和5年2月27日 請負：百武打敷店				

事業者	高向区	事業名	重無民 御頭神事 地域の伝統行事等のための伝承事業		
所在市町	伊勢市	総事業費	3,352,525	総事業期間	R4
R4度事業額	3,352,525	国補助額	3,352,000	県補助額	—
事業内容	古役・鉾持・御棚・杉太夫衣装復元新調				
備考	指導委員：櫻井治男（皇學館大学名誉教授）、鬼頭秀明（中京大学講師）、 山川暁（京都国立博物館企画室長兼工芸室長） 指導委員会：令和4年6月16日、令和5年1月13日 請負：株式会社 川島織物セルコン				

事業者	安乗人形芝居保存会	事業名	重無民 安乗の人形芝居 地域の伝統行事等のための伝承事業		
所在市町	志摩市	総事業費	1,827,835	総事業期間	R4
R4度事業額	1,827,835	国補助額	1,827,000	県補助額	—
事業内容	人形頭・掴み手・もみじ手の修理、義太夫三味線修理、人形胴・舞台衣装の新調				
備考	専門家指導：西城利夫（伊勢河崎商人館事務局長） 修理指導委員会：令和4年11月22日 請負：株式会社 雅舎				

(5) 記念物

事業者	松阪市	事業名	史 松坂城跡 歴史活き活き！史跡等総合活用整備		
総事業費	617,361,000	総事業期間	H26-R14		
R4度事業額	55,471,000	国補助額	27,735,000	県補助額	3,882,000
事業内容	石垣整備工事、登城路整備実施設計及び工事、危険木・支障木伐採、報告書印刷				
備考	委員：千田嘉博（奈良大学教授）、門暉代司（松阪市文化財保護審議委員）、 河北秀実（元三重県埋蔵文化財センター所長）、内田和伸（奈良文化財研究所）、 小澤毅（三重大学教授）、西形達明（関西地盤環境研究センター顧問） 整備検討委員会：令和4年7月1日、令和4年11月17日 業務委託：(株) 空間文化開発機構、松阪飯南森林組合 工事請負：(株) 中村石材工業、(株) ナツカ				

事業者	宗教法人 神宮	事業名	史 旧林崎文庫 歴史活き活き！史跡等総合活用整備		
総事業費	142,232,000	総事業期間	R1-R4		
R4度事業額	42,914,000	国補助額	21,448,000	県補助額	—
事業内容	講堂・書庫の改修工事・耐震補強工事、報告書印刷				
備考	委員：菅原洋一（三重大学名誉教授）、小澤毅（三重大学教授） 活用整備事業委員会：令和4年7月20日、令和5年2月9日 業務委託：歴史建造物調査活用設計室 工事請負：(株) 富士建設				

事業者	伊賀市	事業名	史 伊賀国庁跡 歴史生き生き！史跡等総合活用整備		
総事業費	102,296,000	総事業期間	R1-7		
R4度事業額	10,000,000	国補助額	5,000,000	県補助額	700,000
事業内容	保存整備工事（園路広場施設・植栽・サービス施設）				
備考	委員：小澤毅（三重大学教授）、寺崎保広（奈良大学名誉教授）、高瀬要一（元奈良文化財研究所） 穂積裕昌（三重県埋蔵文化財センター）、上出通雄（府中地区住民自治協議会）、 田中栄一（坂之下区長） 整備検討委員会：令和4年8月2日、令和4年12月16日 業務委託：(株)中央コンサルタンツ 工事請負：(株)福森組				

事業者	伊賀市	事業名	史 伊賀国庁跡 史跡等買上げ（直接買上げ）		
総事業費	42,775,000	総事業期間	R4		
R4度事業額	42,775,000	国補助額	34,220,000	県補助額	2,994,000
事業内容	史跡指定範囲の公有地化				

事業者	明和町	事業名	史 齋宮跡 史跡等買上げ（直接買上げ）		
総事業費	10,841,591,000	総事業期間	S54-R15		
R4度事業額	48,076,500	国補助額	38,460,000	県補助額	7,211,000
事業内容	史跡指定範囲の公有地化				

事業者	明和町	事業名	史 齋宮跡 史跡等買上げ（先行取得償還）		
総事業費	213,772,245	総事業期間	R1-10		
R4度事業額	26,763,999	国補助額	21,410,000	県補助額	4,014,000
事業内容	平成30年度に先行取得した史跡地（8,713㎡）の経費償還				

事業者	明和町	事業名	史 齋宮跡 史跡等買上げ（先行取得償還）		
総事業費	232,540,243	総事業期間	R4-13		
R4度事業額	425,416	国補助額	339,000	県補助額	63,000
事業内容	令和3年度に先行取得した史跡地（9,382㎡）の経費償還				

事業者	明和町	事業名	明和町地域文化財総合活用推進補助事業 地域のシンボル整備等		
所在市町	明和町	総事業費	5,048,207	総事業期間	R4
R4度事業額	5,048,207	国補助額	2,500,000	県補助額	—
事業内容	明和町日本遺産活用推進協議会及び（公財）国史跡齋宮跡保存協会が実施した史跡齋宮跡等におけるイベントや説明看板設置、スタンプラリー事業への間接補助。				
備考	事業実施者：明和町日本遺産活用推進協議会、（公財）国史跡齋宮跡保存協会				

事業者	桑名市	事業名	名 旧諸戸氏庭園 史跡等保存活用計画等策定		
所在市町	桑名市	総事業費	11,450,105	総事業期間	R3-R5
R4度事業額	4,500,105	国補助額	2,250,000	県補助額	315,000
事業内容	公開活用等の計画及び庭園実測図の作成。				
備考	指導委員：菅原洋一（三重大学名誉教授）、井原縁（奈良県立大学教授）、伊藤弘（筑波大学准教授）、 大井隆弘（三重大学助教）、諸戸公子（公益財団法人諸戸財団） 指導委員会：令和4年12月6日、令和5年2月24日 業務委託：(株)環境事業計画研究所				

事業者	桑名市	事業名	名 旧諸戸氏庭園 歴史活き活き！史跡等総合活用整備		
所在市町	桑名市	総事業費	4,620,000	総事業期間	R4
R4度事業額	4,620,000	国補助額	2,310,000	県補助額	—
事業内容	敷地北西角を囲う全長 62.5m の土堀修理。				
備考	工事請負：(株) 魚津社寺工務店				

事業者	(公財) 諸戸財団	事業名	名 諸戸氏庭園 歴史活き活き！史跡等総合活用整備		
所在市町	桑名市	総事業費	69,097,000	総事業期間	H20-R7
R4度事業額	35,400,344	国補助額	17,700,000	県補助額	2,990,000
事業内容	実施設計及び設計監理業務、修復剪定整備工事、地割修復工事、祭車庫修復工事、滝及び噴水復旧工事及び試掘調査、藤茶屋及び旧休憩室防災設備工事				
備考	指導委員： 尼崎博正（京都造形芸術大学教授）、菅原洋一（三重大学名誉教授）、 麓和善（名古屋工業大学大学院名誉教授）、花里利一（三重大学特任教授）、 高橋知奈津（奈良文化財研究所） 指導委員会：令和4年8月4日、令和4年12月21日、令和5年3月29日 業務委託：実施設計・設計監理・試掘調査…(株) 環境事業計画研究所 工事請負：祭車庫修復…(株) 廣垣工務店、滝及び噴水復旧・修復剪定…(株) 三重造園、 防災設備…能美防災株式会社中部支社				

事業者	大台町	事業名	特天 カモシカ 天然記念物食害対策		
総事業費	925,439,000	総事業期間	S56-		
R4度事業額	5,665,000	国補助額	3,776,000	県補助額	660,000
事業内容	カモシカ保護地域における食害対策用保護柵の設置。4カ所 柵総延長1,601m				
備考	請負：宮川森林組合				

事業者	紀北町	事業名	特天 カモシカ 天然記念物食害対策		
総事業費	387,498,940	総事業期間	S58-		
R4度事業額	2,943,000	国補助額	1,962,000	県補助額	343,000
事業内容	カモシカ保護地域における食害対策用保護柵の設置。1カ所 柵総延長783m				
備考	請負：森林組合おわせ				

事業者	四日市市	事業名	天 御池沼沢植物群落 天然記念物緊急調査		
総事業費	7,284,955	総事業期間	R3-R4		
R4度事業額	3,103,709	国補助額	1,550,000	県補助額	0
事業内容	植生調査（植生図作成・対象種調査）及び環境調査（水質調査・地下水位調査）				
備考	業務委託：株式会社テクノ中部				

事業者	いなべ市	事業名	天 ネコギギ 天然記念物再生		
総事業費	40,765,671	総事業期間	H18-		
R4度事業額	3,900,171	国補助額	1,950,000	県補助額	273,000
事業内容	市内河川の潜水調査、環境 DNA 調査、生息環境調査、保護増殖・飼育、再導入可能場所選定及び再導入。				
備考	指導委員：森誠一（岐阜経済大学教授）、渡辺勝敏（京都大学大学院准教授）、 田代喬（名古屋大学准教授）、里中之之（近鉄レジャーサービス(株)（志摩マリンランド元館長）） 指導委員会：令和4年6月20日、11月17日、令和5年3月2日 委託：河川潜水調査…橋本技術株式会社三重営業所、飼育増殖…滋賀県立琵琶湖博物館、 環境 DNA 分析調査…パシフィックコンサルタンツ株式会社 三重事務所				

事業者	亀山市	事業名	天 ネコギギ 天然記念物再生		
総事業費	19,228,008	総事業期間	H27-R7		
R4度事業額	2,238,522	国補助額	1,100,000	県補助額	154,000
事業内容	鈴鹿川水系のモニタリング及び河川環境調査、保護増殖・飼育及び再放流。				
備考	指導委員：森誠一（岐阜協立大学大学院教授）、渡辺勝敏（京都大学大学院准教授） 北村淳一（三重県総合博物館）、川北要始補（亀山市文化財保護審議会委員） 指導委員会：令和5年1月23日、3月15日 委託：生息調査…環境科学大阪株式会社、河川環境調査…環境科学大阪株式会社				

事業者	名張市	事業名	特天 オオサンショウウオ 天然記念物緊急調査		
総事業費	38,562,531	総事業期間	H25-R7		
R4度事業額	2,522,218	国補助額	1,261,000	県補助額	176,000
事業内容	生息調査、DNA サンプルング調査。保護池での交雑種と確認された個体の一時飼育。				
備考	指導委員：松井正文（京都大学大学院教授）、清水善吉（三重県文化財保護指導委員）、 岡田純（日本ハンザキ研究所長）、世良仁（日本サンショウウオセンター職員）、 松月茂明（元日本オオサンショウウオセンター学芸員） 指導委員会：令和4年6月2日、10月11日 生息調査・保護飼育委託：三重自然誌の会,NPO 法人赤目四十八滝渓谷保勝会,名張市文化遺産活性化実行委員会				

事業者	菰野町	事業名	天 田光のシデコブシ及び湿地植物群落 史跡等保存活用計画策定		
総事業費	2,304,000	総事業期間	R4		
R4度事業額	2,304,000	国補助額	1,150,000	県補助額	161,000
事業内容	保存活用計画策定				
備考	業務委託：株式会社フジヤマ				

（6）埋蔵文化財

事業者	鈴鹿市	事業名	史 市内遺跡 発掘調査等		
総事業費	195,352,000	総事業期間	H24-R8		
R4度事業額	12,834,000	国補助額	6,417,000	県補助額	1,497,000
事業内容	発掘調査5件：狐塚遺跡（伊勢国分寺跡第42次）、富士山1号墳第2次、磐城山遺跡第16・16-2次、 長者屋敷遺跡第42次。 市内遺跡の確認調査：20件。報告書作成・刊行：伊勢国分跡25、磐城山遺跡第13・13-2次。 測量、木器保存処理				
備考	指導委員：小澤 毅（三重大学教授）、石田由紀子（奈良文化財研究所主任研究員）、金田章裕（京都大 学名誉教授）、渡辺 寛（皇學館大学名誉教授）、和田勝彦（文化財虫歯害研究所常務理事） 委託：富士山1号墳葺石オルソ作成…（株）文化財サービス、木器保存処理…（株）吉田生物研究所				

事業者	亀山市	事業名	市内遺跡 発掘調査等		
総事業費	33,321,003	総事業期間	H27-R10		
R4度事業額	2,224,000	国補助額	1,112,000	県補助額	—
事業内容	市内遺跡の確認調査、鈴鹿関跡第10次調査、鈴鹿関発掘調査報告書作成				
備考	指導委員：小澤 毅（三重大学教授）、館野和己（奈良女子大学名誉教授）、門井直哉（福井大学教授）、 木崎嘉秋（亀山市文化財保護審議会委員）、榎村寛之（元齋宮歴史博物館学芸課長） 委託：鈴鹿関跡試掘調査…朝日総業株式会社、山本基業、奥条遺跡試掘調査…馬路基礎工業				

事業者	津市	事業名	史 市内遺跡 発掘調査等		
総事業費	2,029,262	総事業期間	R4		
R4度事業額	2,029,262	国補助額	1,000,000	県補助額	233,000
事業内容	市内遺跡の確認調査：8件。報告書作成・刊行：多気北畠氏遺跡第37・38次。 金属製品保存処理：15点。				
備考	指導委員：岡野 友彦（皇學館大学教授）、小澤 毅（三重大大学教授）、金田章裕（京都大学名誉教授）、 服部英雄（九州大学名誉教授）、増淵徹（京都橘大学教授）、渡辺寛（皇學館大学名誉教授） 委託：金属製品保存処理…（株）吉田生物研究所				

事業者	松阪市	事業名	史 市内遺跡 発掘調査等		
総事業費	96,600,000	総事業期間	H12-R8		
R4度事業額	3,700,000	国補助額	1,850,000	県補助額	431,000
事業内容	市内遺跡の発掘調査12件、まんじゅう山古墳群出土金属製品保存処理8点				
備考	保存処理業務委託：一般財団法人大阪市文化財協会				

事業者	明和町	事業名	史 町内遺跡 発掘調査等		
総事業費	196,762,590	総事業期間	S54-R6		
R4度事業額	2,124,100	国補助額	1,000,000	県補助額	233,000
事業内容	町内遺跡の確認調査2件、史跡斎宮跡令和3年度現状変更緊急発掘調査報告刊行				
備考					

事業者	鈴鹿市	事業名	市内埋蔵文化財 地域の特色ある埋蔵文化財活用		
総事業費	4,610,000	総事業期間	R4		
R4度事業額	4,610,000	国補助額	2,305,000	県補助額	—
事業内容	大下遺跡出土木樋レプリカ及び出土状況模型作成、シンポジウム開催、パンフレット作製、埋蔵文化財 WEBページ作成、QRコード看板設置。				
備考	シンポジウム：令和5年1月22日、 委託：レプリカ及び模型作成…（株）スタジオ三十三、QRコード看板…有限会社杉野商店 請負：WEBページ…有限会社マインドソフト				

（7）重要伝統的建造物群保存地区

事業者	亀山市	事業名	重伝建 亀山市関宿 伝統的建造物群基盤強化		
総事業費	1,356,005,000	総事業期間	S60-		
R4度事業額	34,844,260	国補助額	17,422,000	県補助額	2,439,000
事業内容	伝建地区内4件、非伝建地区2件の建設修理に関する設計・監理、及び間接補助（うち1件は設計のみ）				
備考	設計監理委託：田上設計、中浦建築事務所、コバリ建築設計、デザインファクトリープラグ、(株)ARTS				

（8）指定文化財管理事業による間接補助

事業者	個人	事業名	重文 町井家住宅主屋・書院 防災設備保守点検		
所在市町	伊賀市	総事業費	213,400	総事業期間	R4
R4度事業額	213,400	国補助額	37,000	県補助額	37,000
事業内容	防災設備（自動火災報知器、消火栓、避雷針等）の保守点検				
備考	点検業者：ニッタン(株)中部支社				

事業者	宗教法人 大村神社	事業名	重文 大村神社宝殿 小修理		
所在市町	伊賀市	総事業費	247,500	総事業期間	R4
R4度事業額	247,500	国補助額	61,000	県補助額	62,000
事業内容	檜皮葺き屋根修理				
備考	施工業者：谷上社寺工業（株）				

事業者	宗教法人 猪田神社	事業名	重文 猪田神社本殿 防災設備保守点検		
所在市町	伊賀市	総事業費	220,000	総事業期間	R4
R4度事業額	220,000	国補助額	22,000	県補助額	22,000
事業内容	防災設備（自動火災報知器、消火設備）の保守点検				
備考	点検業者：ニッタン(株)中部支社				

事業者	宗教法人 慈恩寺	事業名	重文 木造阿弥陀如来立像 防災設備保守点検		
所在市町	亀山市	総事業費	54,300	所在市町	亀山市
R4度事業額	54,300	国補助額	13,000	R4度事業額	54,300
事業内容	防災設備（自動火災報知器、消火設備（加圧式））の保守点検				
備考	点検業者：(有)大森電気工業所				

事業者	合同会社 苗秀社	事業名	重文 旧松坂御城番長屋 小修理		
所在市町	松阪市	総事業費	1,102,299	総事業期間	R4
R4度事業額	1,102,299	国補助額	154,000	県補助額	153,000
事業内容	西棟：防蟻工事				
備考	施工業者：(株)シロアリ技研				

2 県費補助事業

(1) 建造物

事業者	宗教法人 杉谷神社	事業名	県有 杉谷神社本殿 保存修理		
所在市町	名張市	総事業費	11,944,800	総事業期間	R1-4
R4度事業額	3,619,560	国補助額	-	県補助額	1,809,000
事業内容	向拝・身舎正面の見取り図作成、報告書作成				
備考	彩色調査委託：(有)彩色設計				

事業者	宗教法人 春日神社	事業名	県有 春日神社拜殿 保存修理		
所在市町	伊賀市	総事業費	271,191,624	総事業期間	H28-R4
R4度事業額	38,700,000	国補助額	-	県補助額	19,350,000
事業内容	木工事、復旧工事、絵馬輸送、報告書作成				
備考	指導委員：菅原洋一（三重大学名誉教授）、黒田龍二（神戸大学名誉教授）、花里利一（三重大学特任教授） 修理指導委員会：令和4年7月27日、令和4年12月9日 設計監理：(株)継承社、工事請負：(株)奥谷組				

事業者	宗教学人 常住寺	事業名	県有 常住寺閻魔堂 附棟札及び同写し 保存修理		
所在市町	伊賀市	総事業費	500,000	総事業期間	R4
R4度事業額	500,000	国補助額	-	県補助額	250,000
事業内容	濡れ縁の板の一部取替、ベンガラ塗り				
備考	設計監理：一級建築士事務所タック設計室、工事請負：(株)高田工務店				

事業者	(公財) 諸戸財団	事業名	県有 推敲亭 防災施設整備		
所在市町	桑名市	総事業費	286,000	総事業期間	R4
R4度事業額	286,000	国補助額	-	県補助額	143,000
事業内容	自動火災報知設備設置				
備考	設計監理：永田設計事務所、工事請負：能美防災(株)中部支店				

事業者	合同会社 苗秀社	事業名	県有 御城番屋敷土蔵 防腐防蟻処理		
所在市町	松阪市	総事業費	180,000	総事業期間	R4
R4度事業額	180,000	国補助額	-	県補助額	90,000
事業内容	虫害防除				
備考	委託：(株)シロアリ技研				

(2) 美術工芸品

事業者	殿村自治会	事業名	県有 木造阿弥陀如来坐像 保存修理		
所在市町	津市	総事業費	3,821,400	総事業期間	R3-4
R4度事業額	2,261,390	国補助額	-	県補助額	1,130,000
事業内容	本体修理、台座修理				
備考	指導委員：伊東史朗、松岡久美子 指導日：令和4年8月26日 委託：愛知仏像修復工房				

事業者	宗教学人 耳常神社	事業名	県有 木造神像 防災管理		
所在市町	四日市市	総事業費	190,000	総事業期間	R4
R4度事業額	190,000	国補助額	-	県補助額	95,000
事業内容	防犯カメラ、センサーライトの設置				
備考	委託：株式会社ウイズワタナベ				

(3) 民俗文化財

事業者	南納屋町自治会	事業名	県有民 鯨船山車 懸装品 修理保存事業		
所在市町	四日市市	総事業費	466,420	総事業期間	R4
R4度事業額	466,420	国補助額	-	県補助額	232,000
事業内容	鯨船山車後部幕押さえ復元修理				
備考	専門家指導：鬼頭秀明(中京大学講師) 指導日：令和5年2月22日 請負：株式会社 名古屋創作工芸				

(4) 記念物

事業者	宗教法人 伊奈富神社	事業名	名 伊奈富神社庭園 保存修理		
所在市町	鈴鹿市	総事業費	7,425,958	総事業期間	H27-R4
R4度事業額	440,961	国補助額	-	県補助額	220,000
事業内容	保存修理報告書作成・刊行				
備考	指導委員：中島義晴（奈良文化財研究所）、中村昌幸（樹木医）、衣斐弘行（鈴鹿市文化財調査会） 指導委員会：令和4年7月28日、9月7日、11月2日、令和5年2月8日				

事業者	玉城町	事業名	史 田丸城跡 保存修理		
所在市町	玉城町	総事業費	137,924,000	総事業期間	H29-R7
R4度事業額	10,000,000	国補助額	-	県補助額	3,500,000
事業内容	地盤調査・石垣修復広報検討・樹木伐採剪定				
備考	指導委員：菅原洋一（三重大学名誉教授）、小澤毅（三重大学教授）、岩崎澄雄（郷土史）、 北垣聡一郎（金沢城調査研究所名誉所長）、千田嘉博（奈良大学教授） 指導委員会：令和4年11月21日 業務委託：(株)都市景観設計、いせしま森林組合				

事業者	伊賀市	事業名	史名 蓑虫庵 保存整備		
所在市町	伊賀市	総事業費	16,305,072	総事業期間	R3-5
R4度事業額	12,459,700	国補助額	-	県補助額	1,694,000
事業内容	茅葺屋根葺き替え工事、伐採・剪定				
備考	委託業務：MORI 建築設計室、石原園 工事請負：有限会社森昌組				

3 民間団体による助成

民間団体による文化財保護助成事業として、市町の推薦を受けた文化財保護事業について推薦を行い、下記の団体が助成を受けた。

助成団体	助成先	所在市町	助成額	事業内容
(公財)文化財保護・芸術研究助成財団	殿村自治会	津市	150,000	木造阿弥陀如来坐像修理事業

IV 文化財の管理・普及

1 登録審査

(1) 銃砲刀剣類

審査日：令和4年5月17日、7月19日、9月27日、12月6日、令和5年2月14日

実施場所：県庁舎会議室（津市桜橋）

審査委員：

- 早川繁一（日本美術刀剣保存協会三重県支部長）
- 福井款彦（日本美術刀剣保存協会三重県支部副支部長）
- 東世古晃弘（日本美術刀剣保存協会三重県支部理事）
- 小川保生（日本美術刀剣保存協会三重県支部理事）
- 中西 勤（日本美術刀剣保存協会三重県支部理事）
- 山中敬輔（日本美術刀剣保存協会三重県支部理事）

	刀剣類	銃砲類	合計
新規登録数	252件	27件	279件
登録証再交付数	31件	0件	31件
製作承認件数	0件	0件	0件
所有者変更数	806件	55件	861件
登録証返納数 輸出返納含む	102件	2件	104件

(2) 天然記念物 紀州犬

審査日：令和4年6月19日

実施場所：三重県埋蔵文化センター嬉野分室（松阪市嬉野）

審査員：

- 木村二三利（社団法人日本犬保存会審査員・
同三重県支部顧問）
- 岩橋早由里（社団法人日本犬保存会審査補助員・
同三重支部会員）
- 森本鉄男（社団法人日本犬保存会審査補助員・
同三重支部会員）

登録番号	犬名	性別	登録日	所有者住所
847	楓栴	雌	R4.7.1	伊賀市
848	心乃華	雌	R4.7.1	伊賀市
849	伊勢小町	雌	R4.7.1	多気郡多気町
850	都昇	雄	R4.7.1	伊賀市
851	伊勢晴	雄	R4.7.1	伊賀市

(3) 天然記念物 日本鶏

審査日：令和4年11月6日

実施場所：三重県埋蔵文化センター嬉野分室
（松阪市嬉野）

- 審査員：富田靖男（元三重県立博物館長）
西川祥一（日本家禽会三重県支部長、
天然記念物三重県五鶏保存会会長）
佐々木健二（三重県農林水産部）
宮崎綾夏（三重県農林水産部）

登録番号	鶏種	内種	性別	登録日	所有者住所
1024	小国鶏	白色種	番	R5.2.1	度会郡玉城町
1025	河内奴鶏	五色種	番	R5.2.1	度会郡玉城町
1026	小国鶏	白色種	雌	R5.2.1	津市
1027	小国鶏	白色種	番	R5.2.1	津市
1028	軍鶏	八木戸	雄	R5.2.1	津市

2 文化財の管理

(1) 文化財保護にかかる会議

① 三重県文化財保護連絡会議

県内における指定文化財及び埋蔵文化財などの保護行政を一層充実させるため、市町教育委員会文化財保護行政担当者との打ち合わせ及び協議を実施した。

回	日時	開催場所	内容
第1回	4月28日（金）10:00～12:00	県松阪庁舎	令和4年度文化財保護事業の概要、指定文化財に関する手続き等について
第2回	11月11日（金）9:30～12:00	三重県総合博物館	事業の現状と課題、記念物の現状変更、文化財の防火・耐震について等

② 三重県文化財保護指導委員会議

県内における指定文化財及び埋蔵文化財などの保護行政を一層充実させるため、市町教育委員会文化財保護行政担当者、三重県文化財保護指導委員との打ち合わせ及び協議を実施した。また、三重県文化財保存活用大綱に基づき、災害時の文化財レスキューについての研修を実施した。

地区	日時	開催場所	内容
尾鷲・熊野	4月26日(火) 13:30~15:30	県熊野庁舎	指定文化財に関する事務手続き等、文化財パトロールの実施、災害時の文化財レスキューについての研修
北勢・中勢・南勢・志摩・伊賀	4月28日(木) 13:30~15:30	県松阪庁舎	

③ オオサンショウウオ保護連絡会議

オオサンショウウオの保護管理について、県関係部局および関係市町に周知するとともに、研究者からの助言を得て保護管理についての情報を共有するため、会議を開催した。

日 時	令和5年2月28日(火)13:30~17:00	場 所	名張市郷土資料館
特別報告	「川上ダム建設事業におけるオオサンショウウオ保全対策について」 報告者：独立行政法人水資源機構川上ダム建設所 環境課長 松浦 旬		
報告事項	○オオサンショウウオ保全対策について 木津川上流河川事務所、伊賀建設事務所、津建設事務所、伊賀農林事務所、伊賀市建設部、名張市都市整備部 ○オオサンショウウオ緊急調査事業について 名張市教育委員会		
助言者	清水善吉 三重自然誌の会事務局 松月茂明 元日本サンショウウオセンター学芸員 富田靖男 元三重県立博物館長 佐藤孝則 大阪動植物海洋専門学校 生物多様性センター長 松井正文 京都大学元名誉教授		

④ ネコギギ保護連絡会議

ネコギギの保護管理について、県関係部局および関係市町に周知するとともに、研究者からの助言を得て保護管理についての情報共有を行うため、会議を開催した。

日 時	令和5年2月27日(月)13:30~17:00	場 所	四日市庁舎オンライン併用会議
講演	「気候変動下であらためて考える多自然川づくりのあり方」 岐阜大学 地域環境変動適応研究センター センター長 原田 守啓		
事例報告	○河川工事等におけるネコギギ保全対策について 国土交通省中部地方整備局北勢国道事務所、桑名建設事務所、鈴鹿建設事務所、津建設事務所、松阪建設事務所、伊勢建設事務所、津市津南工事事務所 ○ネコギギ天然記念物再生事業について いなべ市教育委員会事務局 亀山市生活文化部		
助言者	森誠一 岐阜経済大学教授、渡辺勝敏 京都大学大学院准教授、 田代喬 名古屋大学減災連携研究センター准教授		

⑤ オオダイガハラサンショウウオ学習会

オオダイガハラサンショウウオの保護について関係者の理解を深めるため、三重森林管理署、三重県農林水産部、三重県教育委員会事務局で協働して、学習会を開催した。



日 時	令和4年7月15日(金)12:30~14:30	場 所	大杉谷国有林千尋峠(多気郡大台町大杉)
内 容	オオダイガハラサンショウウオの生態について調査するとともに、幼生個体の現地視察を実施した。		

(2) 文化財パトロール

県内における指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地の管理、保存状況を把握し、適切な処置を講じて文化財保護に万全を期するために、三重県文化財保護指導委員 49 名を任用・委嘱して巡視活動等を行っている。巡視活動の報告は、随時、社会教育・文化財保護課に行われ、当課では写しを当該市町教育委員会に送付し、行政対応を行っている。

担当地区	保護指導委員名	担当分野	市町名	実施件数
県内全域	大城哲也	建造物		
	清水善吉・山野直也・中野環	天然記念物		
北勢	蒔田英彦・久安典之・中浦豊子	建造物	桑名市	11
			いなべ市	1
	松本覚・渡辺尚登・浅尾悟	埋蔵文化財	木曽岬町	
			東員町	
			四日市市	5
			菰野町	3
市川正人・寺田卓二	天然記念物	朝日町	1	
		川越町		
中勢	大森尚子・宮本公夫・岩見勝由	建造物	鈴鹿市	10
			亀山市	7
	瀧川和也・藤田直信	彫刻	津市	22
			松阪市	14
林和範・本堂弘之・伊勢野久好・西田尚史・奥義次	埋蔵文化財	多気町	3	
		明和町		
西川浩之・藤原良幸・宮島美栄・杉澤学	天然記念物	大台町	6	
南勢	松月久和・東原達也	建造物	伊勢市	6
			鳥羽市	14
	奥義次・田村陽一・村上喜雄・門野隆一・北島充生	埋蔵文化財	玉城町	2
			度会町	2
	藤原良幸	天然記念物	南伊勢町	
			大紀町	11
志摩市	6			
伊賀	滝井利彰・岩見勝由	建造物	伊賀市	14
	瀧川和也	彫刻	名張市	4
仁保晋作・大花健生・谷戸実	埋蔵文化財			
杉澤学	天然記念物			
東紀州	宮原良雄	建造物	尾鷲市	19
	福村直昭	建造物・彫刻	紀北町	41
	冢崎彰・福村直人	埋蔵文化財	熊野市	47
	山本和彦・更屋好年	天然記念物	御浜町	14
	高須清教・中野順一・植松元夫・東公雄・向井弘晏・西山光雄・清水鎮一	熊野参詣道	紀宝町	2

(4) 埋蔵文化財の発見

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見	通知
弥生土器、土師器、須恵器、陶硯、青磁、陶器、近世陶磁器、土製品、石製品、鉄製品	43	多気郡明和町竹川字中垣内 420、426、476、476-1	史跡斎宮跡第 200 次	三重県	個人	斎宮歴史博物館	R4.3.31	R4.4.1
土師器・須恵器・緑釉陶器・中世陶器・近世陶磁器	7	多気郡明和町大字斎宮字内山 3037 番 1、3037 番 14	史跡斎宮跡第 201-6 次	三重県	個人	斎宮歴史博物館	R4.3.31	R4.4.6
土師器	1	多気郡明和町大字斎宮字牛葉 579 番	史跡斎宮跡第 201-9 次	三重県	個人	斎宮歴史博物館	R4.3.31	R4.4.6
土師器・須恵器・埴輪・青磁・中世陶器・鉄製品	3	多気郡明和町大字斎宮字塚山 3276 番 13、3276 番 1	史跡斎宮跡第 201-10 次	三重県	個人	斎宮歴史博物館	R4.3.31	R4.4.6
土師器・中世陶器	1	多気郡明和町大字竹川字東裏 356 番 1	史跡斎宮跡第 201-11 次	三重県	個人	斎宮歴史博物館	R4.3.31	R4.4.6
土師器、須恵器、緑釉陶器、灰釉陶器、黒色土器、口ク口土師器、青磁、中世陶器、近世陶磁器、近世瓦、土製品、石製品、鉄製品	17	多気郡明和町大字斎宮字西加座地内	史跡斎宮跡第 201-1 次	三重県	明和町長	斎宮歴史博物館	R4.4.15	R4.4.19
土師器、須恵器、口ク口土師器	1	多気郡明和町大字斎宮字牛葉 1 1 4 番、1 1 4 番 1	史跡斎宮跡第 202-2 次	三重県	個人	斎宮歴史博物館	R4.6.7	R4.6.13
弥生土器、陶器、石器	2	いなべ市北勢町下平字大野地内	下平大野 B 遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	R4.10.3	R4.10.7
土器、陶磁器、瓦、木製品	125	津市中央 3 - 1	津城跡	三重県	最高裁判所事務総局経理局長	三重県埋蔵文化財センター	R4.11.22	R4.11.25
土器、陶磁器	11	名張市薦生地内	薦生遺跡第 2 次	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	R4.12.23	R4.12.26
土器、陶器、磁器、瓦、金属製品	19	南牟婁郡紀宝町鶴殿地内	鶴殿西遺跡第 7 次	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	R5.1.10	R5.1.12
土器、陶磁器、銭貨	19	鈴鹿市徳田町地内	山ノ腰 A 遺跡、水深遺跡	三重県	鈴鹿市徳田町土地改良区	三重県埋蔵文化財センター	R5.1.12	R5.1.19
弥生土器	1	いなべ市北勢町向平字拾六代地内	下平大野 B 遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	R5.2.2	R5.2.6
弥生土器、土師器、須恵器、中世陶器、青磁	19	多気郡明和町大字竹川字古里 5 8 2 - 2	史跡斎宮跡第 202-1 次	三重県	有限会社ホームタウン	斎宮歴史博物館	R5.2.7	R5.2.14
土器、陶磁器、金属製品	61	松阪市小片野町地内	小片野新田遺跡	三重県	個人	三重県埋蔵文化財センター	R5.2.17	R5.2.20
土器等	1	津市高野尾町	高野尾北出遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	R5.3.6	R5.3.8
土器、陶磁器、瓦、石製品、金属製品等	11	伊勢市一志町、八日市場町	中館遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	R5.3.6	R5.3.8
土器	66	津市城山一丁目地内	高茶屋大垣内遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	R5.3.6	R5.3.8
土師器	1	多気郡明和町大字斎宮字中西 581 番 1、582 番 1	史跡斎宮跡第 202-4 次	三重県	個人	斎宮歴史博物館	R5.3.16	R5.3.20
土器、陶器、磁器	15	南牟婁郡紀宝町鶴殿地内	鶴殿西遺跡第 8 次・第 9 次	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	R5.3.23	R5.3.23

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見	通知
土師器、須恵器、緑釉陶器、灰釉陶器、中世陶器、近世陶磁器、石製品、金属製品	41	多気郡明和町大字斎宮字牛葉 3403-1、3403-12、3405-5	史跡 斎宮跡 第 202-3 次	三重県	明和町長・個人	斎宮歴史博物館	R5.3.17	R5.3.27
土師器、須恵器、灰釉陶器、中世陶器、近世陶磁器	2	多気郡明和町大字斎宮字西加座地内	史跡 斎宮跡 第 202-6 次	三重県	明和町長	斎宮歴史博物館	R5.3.17	R5.3.27

(5) 埋蔵物の文化財認定

物件名	箱数	発見場所	遺跡の名称	発見者	土地所有者	保管場所	発見	認定	認定者
長者屋敷遺跡(伊勢国府跡)第41次調査出土遺物 瓦、須恵器	4	鈴鹿市広瀬町字長塚1252番1、1254番、1255番	長者屋敷遺跡(伊勢国府跡)	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	R4.3.28	R4.4.19	三重県教育委員会
磐城山遺跡第14-2次出土遺物 弥生土器、土師器、須恵器	5	鈴鹿市木田町字西上條2215	磐城山遺跡第14-2次	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	R4.3.31	R4.4.19	三重県教育委員会
磐城山遺跡第15次出土遺物 弥生土器、土師器、須恵器、陶器、磁器	26	鈴鹿市木田町字西上條2211-1、2214-1	磐城山遺跡第15次	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	R4.3.31	R4.5.11	三重県教育委員会
専修寺境内遺跡(R4-1次)出土遺物 土師器	1	津市一身田町2819番	専修寺境内遺跡(R4-1次)	津市教育委員会教育長	専修寺	津市埋蔵文化財センター	R4.4.20	R4.5.24	三重県教育委員会
狐塚遺跡(伊勢国分寺跡第42次)発掘調査出土遺物 山茶碗、土師器、須恵器、瓦	1	鈴鹿市国分町字人足道148番1	狐塚遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	R4.5.10	R4.5.27	三重県教育委員会
愛宕山城跡出土遺物 土師器・山茶碗・陶磁器・瓦	1	桑名市大字矢田字城山248-2、249-6、大字本願寺字小野山200	愛宕山城跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R4.5.20	R4.5.27	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡出土遺物 陶器(ほか)	1	桑名市萱町44番	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R4.5.20	R4.5.27	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡出土遺物 陶器・瓦	1	桑名市内堀187	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R4.5.20	R4.5.27	三重県教育委員会
桑名城跡出土遺物 陶器・瓦	1	桑名市吉之丸9地内	桑名城跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市長	桑名市教育委員会	R4.5.20	R4.5.27	三重県教育委員会
中ノ谷遺跡出土遺物 土師器・須恵器・陶磁器・石器	7	桑名市多度町小山字中之谷地内	中ノ谷遺跡	桑名市教育委員会教育長	多度町小山土地区画整理組合	桑名市教育委員会	R4.5.20	R4.6.7	三重県教育委員会
鈴鹿関跡出土遺物 丸瓦、平瓦、土器等	16	亀山市関町新所地内	鈴鹿関跡	亀山市教育委員会教育長	亀山市長	亀山市教育委員	R4.5.16	R4.6.17	三重県教育委員会
北ノ垣内遺跡範囲確認調査出土遺物 山茶碗・鉢、土師器皿、古瀬戸鉢	1	鈴鹿市東庄内町字北谷2979番1、2979番3	北ノ垣内遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	R4.5.31	R4.6.23	三重県教育委員会
松坂城跡出土遺物 瓦片・土師器片・須恵器片等	5	松阪市殿町	松坂城跡	松阪市教育委員会教育長	東海財務局津財務事務所	松阪市文化財センター嬉野整理所	R4.5.2	R4.6.23	三重県教育委員会

物件名	箱数	発見場所	遺跡の名称	発見者	土地所有者	保管場所	発見	認定	認定者
神戸遺跡出土遺物 弥生土器片・土師器 片・陶器片等	3	松阪市下村町	神戸遺跡	松阪市教育委員会 教育長	個人	松阪市文化財センター嬉野整理所	R4.5.2	R4.6.23	三重県教育委員会
井之尻・長井遺跡出土遺物 土師器片・山茶碗片等	1	松阪市久米町	井之尻・長井遺跡	松阪市教育委員会 教育長	TANIX 株式会社	松阪市文化財センター嬉野整理所	R4.5.2	R4.7.1	三重県教育委員会
白子代官所跡範囲確認調査出土遺物 山茶碗・山皿・土師器 皿・白磁碗	1	鈴鹿市白子二丁目 3012 番 1	白子代官所跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	R4.6.14	R4.7.26	三重県教育委員会
金剛坂遺跡出土遺物 土師器	1	多気郡明和町大字金剛坂字古垣内 1079 番 5	金剛坂遺跡	明和町長	個人	明和町齋宮跡・文化観光課	R4.7.6	R4.7.26	三重県教育委員会
露越遺跡出土遺物 土師器・須恵器	3	多気郡明和町大字竹川字露越 1071 番	露越遺跡	明和町長	明和町長	明和町齋宮跡・文化観光課	R4.7.6	R4.9.16	三重県教育委員会
三重県指定史跡「教倫堂跡」出土遺物（工事立会） 瓦・陶器	1	鈴鹿市神戸四丁目 1 番 80 号	三重県指定史跡「教倫堂跡」	鈴鹿市長	三重県	鈴鹿市考古博物館	R4.8.31	R4.10.3	三重県教育委員会
須恵器・土師器・鉄製品	2	四日市市東坂部町字殿ノ堀 1864 番の一部、1865 番の一部	貝野遺跡	四日市市長	個人	四日市市シティプロモーション部文化課 文化財収蔵庫	R4.9.20	R4.10.3	三重県教育委員会
門山遺跡（第 4 次）発掘調査出土遺物 壺形埴輪・土師器・須恵器・山茶碗・瓦	5	鈴鹿市平野町字門山 887 番・888 番 2・4、889 番 4 の一部	門山遺跡	鈴鹿市長	株式会社第一不動産販売	鈴鹿市考古博物館	R4.9.13	R4.10.25	三重県教育委員会
露越遺跡出土遺物 土師器・須恵器	19	多気郡明和町大字竹川字南裏 182 番 1、182 番 2、173、199 番 4、199 番 13	露越遺跡	明和町長	個人	明和町齋宮跡・文化観光課	R4.9.20	R4.10.26	三重県教育委員会
十宮古里遺跡第 7 次出土遺物 弥生土器、土師器、須恵器、山茶碗、青磁、陶磁器、瓦、動植物遺存体（骨・貝・木製品）	18	鈴鹿市十宮四丁目 88 番 1、神戸七丁目 88 番 5	十宮古里遺跡第 7 次	鈴鹿市長	株式会社ウタカ開発	鈴鹿市考古博物館	R4.10.17	R5.1.10	三重県教育委員会
畔名遺跡工事立会出土遺物 土器・陶器	10	志摩市大王町畔名 383 番地	畔名遺跡	志摩市教育委員会 教育長	志摩市	志摩市教育委員会生涯学習スポーツ課	R4.12.15	R5.1.31	三重県教育委員会
川方城跡 R 4 - 4 次出土遺物 陶器	1	津市川方町字里ノ内 393 番 1 ほか 5 筆	川方城跡 R 4 - 4 次	津市教育委員会 教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	R4.12.23	R5.2.28	三重県教育委員会
小鳥山中世墓出土遺物 土師器、陶器、鏡、鉄製品	3	津市一志町小山字上ノ屋敷 1229 他一筆	小鳥山中世墓	津市教育委員会 教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	R5.2.2	R5.3.24	三重県教育委員会
山田廃寺及び西畑遺跡出土遺物 須恵器・土師器・中世陶器等	1	員弁郡東員町大字山田 1996 番、1997 番、2002 番、2003 番、2005 番、2007 番 1	西畑遺跡	東員町教育委員会 教育長	個人	東員町教育委員会	R5.3.8	R5.3.24	三重県教育委員会
		員弁郡東員町大字山田 1679 番 1、1679 番 2、1679 番 3、1679 番 4、1680 番 1、1992 番、1993 番、1994 番	山田廃寺						

(6) 出土文化財の譲与

譲与	申請者	譲与文化財の名称	箱数	発見場所	遺跡名	発見
R4.4.20	鈴鹿市長	弥生土器、土師器、須恵器、埴輪、瓦、土錘、軽石	2	鈴鹿市南若松町 203 番 1、249 番 3、265 番 9	南原永 I 遺跡	R3.4.2
R4.4.20	鈴鹿市長	台付甕	1	鈴鹿市南長太町 2343 番	大木ノ輪遺跡	R3.4.2
R4.4.20	鈴鹿市長	弥生土器	1	鈴鹿市東庄内町字亀山口 3124 番、3126 番 1、字石亀 3589 番 1、字山ノ神戸 3610 番、3611 番、3614 番、3615 番 1、3629 番 1、3630 番、3634 番	東庄内 B 遺跡	R3.5.7
R4.4.20	鈴鹿市長	土師器、常滑焼	1	鈴鹿市国府町字長之城 1741 番 5・8	国府城跡	R3.4.21
R4.4.20	鈴鹿市長	土師器、須恵器、山茶碗、常滑焼、白磁、銭	3	鈴鹿市平野町字花林 1256 番 4	平野遺跡	R3.7.5
R4.4.20	鈴鹿市長	土師器	1	鈴鹿市石薬師町字山起 571 番 89、571 番 92 の各一部	石薬師東遺跡	R3.6.16
R4.4.20	鈴鹿市長	土師器	1	鈴鹿市三宅町字一色 202 番 8、202 番 9	一色 B 遺跡	R3.6.16
R4.4.20	鈴鹿市長	土師器	1	鈴鹿市三宅町字一色 196 番 2	一色 B 遺跡	R3.6.16
R4.4.20	鈴鹿市長	土師器、山茶碗	1	鈴鹿市三宅町字一色 195 番	一色 B 遺跡	R3.6.16
R4.4.20	四日市市長	土師器・石器など	1	四日市市西坂部町字落川原 3173-1・3155・3157-1	横谷遺跡	R2.4.8
R4.4.20	四日市市長	弥生土器・土師器・須恵器・勾玉・管玉・鉄製品など	30	四日市市貝家町字荒起 1247 番地 5 (ほか 20 筆)	菅野遺跡・菅野古墳群	R3.3.25
R4.4.20	四日市市長	土師器・須恵器・陶器・石製品など	2	四日市市西坂部町字山添 2355-1、2355-2、2356-1、2356-3、2365	川向山添遺跡	R2.6.19
R4.5.10	大台町長	石器類、焼石、炭化物	103	多気郡大台町栃原出張 1826-9 他 4 筆	出張遺跡	S52.8.31
R4.6.1	桑名市長	須恵器、土師器、近世陶磁器、石製品、瓦	6	桑名市多度町小山 2079 番地 他 (別紙)	天王平遺跡	R3.11.16
R4.6.1	桑名市長	近世～近代の陶磁器	1	桑名市北魚町 36 番	桑名城下町遺跡	R3.11.16
R4.6.1	桑名市長	山茶碗、近世陶器	1	桑名市大字西方字北外面 261-1、261-2、262-1、262-2、262-3、262-4	西方台地 B 遺跡	R3.11.16
R4.6.1	桑名市長	近世～近代の陶磁器	1	桑名市多度町多度 1151	多度 A 遺跡	R3.11.16
R4.6.1	桑名市長	近世～近代の陶磁器、瓦	1	桑名市宮通 57	桑名城下町遺跡	R3.11.16
R4.6.14	鈴鹿市長	土師器、須恵器、山茶碗、青磁、古瀬戸、常滑焼、陶磁器、瓦、銭貨、鉄製品	4	鈴鹿市飯野寺家町字城掛 320-4	沢城跡 第 5 次	R3.10.19
R4.6.22	明和町長	土師器、須恵器	1	多気郡明和町大字坂本字西垣外 1194 番 4、1194 番 5、1197 番 7、1197 番 8	坂本古墳群	R3.10.22
R4.8.16	明和町長	土師器	1	多気郡明和町大字金剛坂字古垣内 1079 番 5	金剛坂遺跡	R4.7.6
R4.8.16	明和町長	土師器、須恵器	3	多気郡明和町大字竹川字露越 1071 番	露越遺跡	R4.7.6
R4.9.29	鈴鹿市長	弥生土器、天目茶碗、瀬戸焼、常滑焼	1	鈴鹿市上箕田一丁目 6 番 2	上箕田遺跡	R4.1.5
R4.9.29	鈴鹿市長	土師器、須恵器	1	鈴鹿市国府町 1409 番 1	国府 A 遺跡	R4.2.1
R4.9.29	鈴鹿市長	土師器、須恵器	1	鈴鹿市国府町字浜弓場 1084 の一部、1086 の一部、1087 の一部、1088、1089、1107-1	国府 B 遺跡	R4.2.1
R4.9.29	鈴鹿市長	土師器、須恵器、山茶碗、瓦	1	鈴鹿市国分町字谷上 1449 番 1	国分南遺跡	R4.2.1

譲与	申請者	譲与文化財の名称	箱数	発見場所	遺跡名	発見
R4.9.29	鈴鹿市長	土師器、須恵器	1	鈴鹿市郡山町字大鳥居 83 番、84 番、85 番、86 番	大鳥居遺跡	R4.2.9
R4.9.29	鈴鹿市長	円筒埴輪・朝顔形埴輪・形家埴輪・土師器、須恵器、瓦、近世陶磁	15	鈴鹿市国分町字富士山越 2065 番 1・5、911 番 1	富士山 1 号墳	R4.2.8
R4.10.19	津市長	須恵器	1	津市庄田町 588	上出遺跡 (R3-1 次)	R3.12.22
R4.10.19	津市長	土師器	1	津市一志町片野字内山 557 番 1	片野遺跡 (R3-2 次)	R3.12.22
R4.10.19	鈴鹿市長	土師器、須恵器、山茶碗、陶器	1	鈴鹿市十宮四丁目 88 番 1、神戸七丁目 88 番 5	十宮古里遺跡	R4.3.9
R4.10.25	伊賀市長	土師器、須恵器、黒色土器、瓦など	8	伊賀市西明寺 3216-1 番地	西明寺遺跡	R4.3.22
R4.11.17	明和町長	土師器、須恵器、石製品、鉄製品	25	多気郡明和町大字金剛坂字古垣内 1079、1080、1081、1082、1083	金剛坂遺跡	R3.10.19
R4.12.21	鈴鹿市長	弥生土器、土師器、須恵器	5	鈴鹿市木田町字西上條 2215	磐城山遺跡(第 14-2 次)	R4.3.31
R4.12.21	鈴鹿市長	弥生土器、土師器、須恵器、陶器、磁器	26	鈴鹿市木田町字西上條 2211-1、2214-1	磐城山遺跡(第 15 次)	R4.3.31
R4.12.21	鈴鹿市長	瓦、須恵器	4	鈴鹿市広瀬町字長塚 1252 番 1、1254 番、1255 番	長者屋敷遺跡(伊勢国府跡)(第 41 次)	R4.3.28
R5.2.14	桑名市長	土師器・山茶碗・陶磁器・瓦	1	桑名市大字矢田字城山 248-2、249-6、大字本願寺字小野 200	愛宕山城跡	R4.5.20
R5.2.14	桑名市長	陶器ほか	1	桑名市萱町 4 4 番	桑名城下町遺跡	R4.5.20
R5.2.14	桑名市長	陶器・瓦	1	桑名市内堀 1 8 7	桑名城下町遺跡	R4.5.20
R5.2.14	桑名市長	陶器・瓦	1	桑名市吉之丸 9 地内	桑名城跡	R4.5.20
R5.2.14	桑名市長	土師器・須恵器・陶磁器・石器	7	桑名市多度町小山字中ノ谷地内	中ノ谷遺跡	R4.5.20
R5.2.14	鈴鹿市長	山茶碗、土師器、須恵器、瓦	1	鈴鹿市国分町字人足道 148 番 1	狐塚遺跡	R4.5.10
R5.2.14	鈴鹿市長	山茶碗・鉢、土師器皿、古瀬戸鉢	1	鈴鹿市東庄内町字北谷 2979 番 1、2979 番 3	北ノ垣内遺跡	R4.5.31
R5.2.14	鈴鹿市長	山茶碗・山皿・土師器皿・白磁碗	1	鈴鹿市白子二丁目 3012 番 1	白子代官所跡	R4.6.14
R5.2.14	津市長	土師器	1	津市一身田町 2819 番	専修寺境内遺跡 (R4-1 次)	R4.4.20

3 国・県指定文化財に関する諸届等

令和4年4月1日から令和5年3月31日までに申請等が行われた指定文化財に関する現状変更等の諸届の状況は下記のとおりである。なお、すでに許可を得ている現状変更に関する期間変更のみの申請及び所在場所変更のうち元の場所に復する場合は含んでいない。

(1) 国指定文化財

① 国宝・重要文化財

文化財名称	種別	現状変更		保存に影響を及ぼす行為	毀損	防災施設機能低下	修理	所有者変更	所在場所変更	合計
		国	県・市許可							
旧諸戸家住宅洋館・和館	建造物				1					1
旧賓日館	建造物						1			1
旧松坂御城番長屋 東棟 西棟	建造物						2			2
庫蔵寺本堂 附厨子 (伝日本尊厨子) (大阪市立美術館寄託)	建造物								1	1
絹本著色弘法大師像 (大宝院所蔵、大阪市立美術館寄託)	絵画								1	1
絹本著色聖徳太子像 (四天王寺所蔵、大阪市立美術館寄託)	絵画								1	1
更科紀行芭蕉自筆稿本	書跡								1	1
合計		0	0	0	1	0	3	0	4	8

② 史跡・名勝

文化財名称	種別	現状変更		滅失・毀損	復旧	合計
		国	県・市許可			
松坂城跡	史跡	1	2			3
斎宮跡	史跡	14	42			56
離宮院跡	史跡		2			2
旧林崎文庫	史跡	1				1
熊野参詣道 紀伊路 中辺路 大辺路 小辺路 伊勢路 熊野川 七里御浜 花の窟	史跡	1	1			2
赤木城跡及び田平子峠刑場跡	史跡		2			2
上野城跡	史跡		9			9
旧崇広堂	史跡		9	2		11
伊賀国庁跡	史跡	1				1
伊賀国分寺跡	史跡		2			2
長楽山廃寺	史跡		1			1
旧諸戸氏庭園	名勝	1	4	5		10
諸戸氏庭園	名勝	10				10
北畠氏庭園	名勝		1			1
三多気のサクラ	名勝				1	1
二見浦	名勝	1				1
城之越遺跡	名勝及び史跡	1	1			2
赤目の峡谷	名勝	2		2		4
合計		33	76	10		119

③ 天然記念物

文化財名称	現状変更		滅失・毀損	合計
	国	県・市許可		
カモシカ			8	8
オオサンショウウオ	13	6	3	22
ネコギギ	18	10	4	32
ヤマネ	1	3		4
田光のシデコブシ及び湿地植物群落	3	1		4
大島暖地性植物群落	1	1		2
セマルハコガメ			2	2
御池沼沢植物群落	1			1
大杉谷			2	2
棕本の大明ク	1			1
白子不断ザクラ	1			1
熊野の鬼ヶ城 附 獅子岩			2	2
合計	39	25	17	81

(2) 県指定文化財

① 有形文化財

文化財名称	種別	現状変更	毀損	修理	所有者変更	所在場所変更	合計
諸戸(宗)家住宅 煉瓦蔵	建造物		1		1		2
旧諸戸家住宅(六華苑) 一番蔵一棟 二番蔵一棟 番蔵棟一棟 旧高須御殿一棟 稲荷社一棟 表門一棟	建造物		2				2
御成書院	建造物			1			1
神宮祭主職舎(旧慶光院) 勝手所一棟 表門一棟	建造物			1			1
旧三重県第三中学校校舎	建造物	1		1			2
紙本墨書國崎文書	古文書					1	1
紙本著色長谷川等伯四季山水図屏風(大阪 市立美術館寄託)	絵画					1	1
木造十一面観音立像(和具観音堂所蔵)	彫刻			1			1
紙本墨書射和寺文書	書跡				1		1
射和文庫並びに竹川竹斎関係資料	歴史資料				1		1
合計		1	3	4	3	2	13

② 民俗文化財

文化財名称	種別	現状変更	毀損	修理	所有者変更	所在場所変更	合計
春日神社雨乞願解大絵馬 附相撲板番付5点	有形民俗	1					1
合計		1					1

③ 史跡・名勝

文化財名称	種別	現状変更		滅失毀損	復旧	所有者変更	合計
		県	市許可				
桑名城跡	史跡		2				2
教倫堂跡	史跡	2					2
石薬師の一里塚跡	史跡	1					1
神戸の見付	史跡	1					1
神戸城跡	史跡	1					1
津城跡	史跡		1				1
長谷川氏旧宅	史跡・名勝	1	1				2
田丸城跡	史跡	9		2			11
鳥羽城跡	史跡	1	1				2
坂手砲台跡	史跡		1				1
城之越遺跡	史跡	1	1				2
蓑虫庵	史跡・名勝	2		1			3
伊奈富神社庭園	名勝		1	1			2
稻生山の躑躅	名勝		3				3
宮川堤	名勝	1					1
二見浦	名勝	2					2
合計		22	11	4			37

④ 天然記念物

文化財名称	現状変更		滅失毀損	所有者変更	合計
	県	市許可			
きりしまみどりしじみ	2				2
嘉例川ヒメタイコウチ生息地	1				1
篠立の風穴	1				1
逆柳の甌穴	1				1
おおだいがはらさんしょうお	4				4
長太の大楠	2				2
地藏大マツ	2				2
豊浦神社社叢	1				1
覆盆子洞	1				1
鈴島暖地性植物群落	1				1
鷲嶺の水穴	1				1
西村廣休宅跡ノふう樹	1				1
和具大島暖地性砂防植物群落	1				1
ジュロウカンアオイ自生地	1	1			2
野登山のブナ林		1			1
飛鳥神社樹叢		1			1
合計	20	3			23

4 文化財の公開・普及

(1) 文化財関係の表彰

○令和4年度 教育功労者表彰 学術文化功労 伊賀市 福井健二

(2) 三重県文化財講習会第40回

文化財保護に関する知識と技能等の研修を行い、資質の向上を図るとともに、文化財の保存と活用の強化に資するため、文化財保護に携わっている文化財所有者、管理者、三重県文化財保護指導委員、市町文化財保護関係委員、文化財保護行政担当者等を対象として年1回、三重県指定文化財等所有者連絡協議会・三重県総合博物館と共催で講習会を行っている。令和4年度は申込制として一般の参加者にも公開したほか、撮影した動画を後日 YouTube 社文課 TV で配信を行った。

日 時	令和4年11月11日(金)	参 加 者	64名
場 所	三重県総合文化センター 生涯学習センター棟 視聴覚室		
テ - マ	『地域の人々と歴史文化をつなぐ！～博物館・資料館の取組～』		
内 容	講 演 「熊野市歴史民俗資料館の特徴的な企画展 ～市民と歴史文化の交差点として～」 更屋 好年 (熊野市歴史民俗資料館館長) 「松阪歴史文化舎の取組 ～長谷川家・小津家・原田旧宅の活用～」 扇野 耕多 (NPO法人 松阪歴史文化舎) 「双方向でつなぐ地域資料 ～亀山市歴史博物館の事例～」 中川 由莉 (亀山市歴史博物館)		

(3) パネル展示

タイトル	「三重・石川・福井3県海女合同パネル展示」三重会場		
日 時	令和4年9月22日(木)～10月30日(日)		
場 所	三重県立図書館2階 文学コーナー		
内 容	三重県・石川県・福井県3県の海女漁の習俗やその魅力を伝える展示 三重県の海女漁の記録映像紹介 *石川会場・福井会場については、P.17参照		

タイトル	「描かれた神と仏」		
日 時	令和4年11月1日(火)～11月24日(木)		
場 所	三重県総合博物館 3階学習交流スペース		
内 容	絹本着色仏涅槃図(龍華寺所蔵)、紙本着色伊勢両宮曼荼羅図(神宮所蔵)、 絹本着色阿弥陀二十五菩薩来迎図(深正寺所蔵)、絹本着色当麻曼荼羅図(十念寺所蔵)など		

タイトル	「疫病退散！願い・祈りを込めた無形民俗文化財の行事」		
日 時	令和4年11月1日(火)～12月18日(日)		
場 所	三重県立図書館2階 文学コーナー		
内 容	疫病、災厄等をはらうため、その願いや平穏への祈りが込められた三重県を代表する無形民俗文化財の行事を映像とパネルで紹介 国重要無形民俗文化財「御頭神事伊勢市」、県指定無形民俗文化財「東日野・西日野の大念仏四日市市」「射和祇園祭の屋台行事松阪市」「山神の獅子舞玉城町」「棚橋の御頭神事度会町」「陽夫多神社祇園祭の願之山行事伊賀市」など		

タイトル	「風流踊」ユネスコ無形文化遺産登録記念「勝手神社の神事踊」パネル展示
日時	令和4年12月1日(木)～12月16日(金)
場所	三重県総合文化センター生涯学習棟1階 県立図書館前エントランス
内容	ユネスコ無形文化遺産に登録された「風流踊」の中で、三重県に所在する「勝手神社の神事踊」(伊賀市)の解説を中心に、県内類似行事や隣県の風流踊をパネルで紹介。国重要無形民俗文化財「勝手神社の神事踊」、県指定無形民俗文化財「大江の羯鼓踊」「円座の羯鼓踊」「かんこ踊(狹師町・松阪市)」など

(4) パンフレット等印刷物

- 「描かれた神と仏」 800部 絵画を紹介するパンフレット
- 「石碑が伝える災害の記憶と警鐘第4版」 1,000部 災害供養碑を紹介するパンフレット
- 「三重県ちよっと昔の建物めぐり第3版」 600部 登録有形文化財建造物を紹介するパンフレット
- 「三重県無形民俗文化財ガイド～令和4年度版～」 2,500部 無形民俗文化財を紹介するパンフレット

(5) 第64回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会

近畿・東海・北陸ブロック12府県内に伝承されている民俗芸能のうち、無形民俗文化財に指定されるなど、価値が高いものについて特別公開し、各保存団体の伝承活動の活性化をはかるとともに、伝統文化への関心を広く高めることを目的として毎年度開催されている。令和4年度は奈良県奈良市で実施され、三重県からの出演はなかった。

日時	令和4年12月4日(日) 12:30～17:00
場所	なら100年会館 奈良県奈良市三条宮前町
内容	国指定重要無形文化財「題目立」(奈良県)、国指定重要無形文化財「諸寄麒麟獅子舞」(兵庫県)、国指定重要無形文化財「越中の稚児舞」(富山県)、奈良県指定無形民俗文化財「白石の双盤念仏」、奈良県指定無形民俗文化財「吐山の太鼓踊り」、石川県指定無形民俗文化財「二俣いやさか踊り」、岐阜県指定無形民俗文化財「高山おどり」、京都府指定無形民俗文化財「和知人形浄瑠璃」

(6) 文化財保護強調週間令和4年11月1日～7日

市町関連行事の照会はコロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(7) 文化財防火デー

○関連防火運動実施状況令和5年1月26日以外に実施したものも含む

	防災訓練	消防設備点検	防災指導	広報活動等
県	3	3	3	3
市	13	16	11	21
町	6	9	9	16
計	22	28	23	40

(8) 文化財保護の組織 令和4年4月1日現在

社会教育・文化財保護課 課長 天野 長志

有形文化財班

- 副参事兼班長 伊藤 裕偉
- 主幹兼係長 鈴木 貴弘
- 主幹 西村 美幸
- 主査 岡田 鉄也
- 主査 杉田 聡子
- 主任 和澄 さやか

記念物・民俗文化財班

- 班長 中井 英幸
- 主幹兼係長 角正 淳子
- 主幹 水橋 公恵
- 主任 中村 貴俊
- 主任 宮原 佑治
- 技師 水谷 侃司

V 修理事業報告

県指定有形文化財 木造阿弥陀如来坐像（津市殿村自治会所蔵）の修理

指 定 日：平成6年3月9日 彫第86号

所 在 地：津市大字殿村

所 有 者：殿村自治会

概要

本文化財は津市大字殿村に所在する願応寺（廃寺）の本堂に客仏として安置されている。像高約86.4cmで平安末期の制作と考えられる。像内の応永9（1499）年修理銘については資料紹介を参考されたい。

修理の概要

表面の漆箔層が大きく浮き上がり剥落する部分が随所に見られ、各矧目が緩み、特に両脚部材は離れていた。そのため、令和3・4年度補助事業で解体修理を行った。修理は愛知仏像修理工房が実施した。欠失していた肉髻珠、白毫、裳先は新補した。台座は一度解体し、別置されていた敷茄子を戻した。



写真1 修理前正面



写真2 修理前背面



写真3 修理後正面



写真4 修理後背面



写真5 修理前右側面



写真6 修理前左側面



写真7 修理後右側面



写真8 修理後左側面



写真9 修理前像底



写真10 修理後像底



写真11 蓮華台補強新補



写真12 根幹部矧ぎ付け

	<p>三重県の文化財保護</p>

令和4年度

発行 令和6年2月

編集 三重県教育委員会

三重県内 国・県指定等文化財数

令和5年3月31日現在

種別		国	県	計
有形文化財 重要文化財	建造物（内、国宝2）	26	45	71
	絵画	20	44	64
	彫刻	67	115	182
	工芸品	19	60	79
	書跡・典籍・古文書（内、国宝文書3）	44	59	103
	考古資料（内、国宝1）	10	31	41
	歴史資料	4	10	14
	小計	190	364	554
無形文化財	工芸技術	1	1	2
	芸能	0	1	1
	小計	1	2	3
民俗文化財	無形民俗文化財	10	38	48
	有形民俗文化財	1	25	26
	小計	11	63	74
記念物	特別史跡	1	－	1
	特別天然記念物	2	－	2
	特別名勝及び天然記念物	1	－	1
	史跡	37	71	107
	史跡及び名勝	0	3	3
	史跡及び天然記念物	0	0	0
	名勝	6	8	14
	名勝及び史跡	1	0	1
	名勝及び天然記念物	0	1	1
	天然記念物（地域を定めず）	15	4	19
	天然記念物	21	78	99
	天然記念物及び名勝	1	1	2
	小計	85	166	251
伝統的建造物群保存地区（選定）		1	－	1
文化財の保存技術（選定）		0	0	0
記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（選択）		15	11	26
重要文化的景観（選定）		0	0	0
登録有形文化財		311	－	311
登録有形民俗文化財		1	－	1
登録記念物		2	－	2
小計		330	11	341
総計		617	606	1223
ふるさと文化財の森		4		4